

P C 9 8 -

活用ガイド ハードウェア編

本体の構成各部

周辺機器を利用する

システム設定

(Windows XP Professionalインストールモデル) (Windows XP Home Editionインストールモデル) (Windows 2000 Professionalインストールモデル)

PC98-NX シリーズ

Mate

液晶一体型

本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください ご購入いただいたモデルによっては、下記以外にもマニュアルが添付されている場合があります。『はじめにお読みください』6.マニュアルの使用方法」 でご確認ください。 添付品の確認、本機の接続。Windows XP Professional、Windows XP Home EditionまたはWindows 2000 Professionalのセットアップ →『はじめにお読みください』 本機を安全に使うための情報 ⇒ "安全にお使いいただくために」 Windowsの基礎知識、基本的な操作方法 → Microsoft社製『ファーストステップガイド』または『クイックスタート ガイド』 このマニュアルです 本機の各部の名称・機能、システム設定(BIOS設定) →『活用ガイド ハードウェア編 液晶一体型(電子マニュアル) 本機の機能を拡張する機器の取り付け方、内部構造の説明 →『活用ガイド ハードウェア編 液晶一体型(電子マニュアル) 本機にインストール/添付されているアプリケーションの削除/追加、他の OS**のセットアップ** ➡『活用ガイド ソフトウェア編(電子マニュアル) トラブル解決方法 ➡『活用ガイド ソフトウェア編(電子マニュアル) 再セットアップ方法 →『活用ガイド 再セットアップ編』 環境に関する情報 →『環境ガイド』 選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア)の利用方法 → Office XP Personal、Office XP Professionalがあり、マニュアルが添 付されています。ご使用のモデルによって異なります。 パソコンに関する相談窓口、受講施設、故障時のサービス網、およびNEC の企業向けパソコン関連総合サイト「NEC 8番街」のご案内 → 『NEC PCあんしんサポートガイド』 - Microsoft**関連製品の情報について** -次のwebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、 およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用するための書籍やトレーニン グキットなどが紹介されています。 http://www.microsoft.com/iapan/info/press/



このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウな ど、Windowsの基本操作に必要な用語とその意味を理解 していること、また、それらを操作するためのマウスの基 本的な動作が一通りでき、Windowsもしくは添付のアプ リケーションのヘルプを使って操作方法を理解、解決でき ることを前提に本機固有の情報を中心に書かれています。

もし、あなたがパソコンに初めて触れるのであれば、上 記の基本事項を関連説明書などで一通り経験してから、 このマニュアルをご利用になることをおすすめします。

この活用ガイドは、以下の機種について書いてあります。 PC98-NX**シリーズ** Mate MA10W/FE、MA10W/FR、MA86W/FR

(Windows XP Professionalインストールモデル) (Windows XP Home Editionインストールモデル)

(Windows 2000 Professionalインストールモデル)

選択アプリケーション、本機の仕様については、お客様 が選択できるようになっているため、各モデルの仕様に あわせてお読みください。

仕様についての詳細は、「PART4 付録」をご覧ください。

2002年12月 初版

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載してい ます。





注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左記の記号の場合は、感電の可能性が想定されることを示します。感電注意の他に、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれのマークとともに記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



このマニュアルで使用している表記の意味

本機 次の機種を指します。

PC98-NX シリーズ Mate MA10W/FE、MA10W/FR、MA86W/FR (Windows XP Professionalインストールモデル) (Windows XP Home Editionインストールモデル) (Windows 2000 Professionalインストールモデル)

*本機がどのモデルに該当するかは、型番を調べればわかりま す。型番の調べ方・読み方については、『はじめにお読みくだ さい』をご覧ください。

本体	キーボードなどの周辺機器を含まない、 MA10W/FE、 MA10W/FR、MA86W/FR を指します。
CD <mark>レスモデル</mark>	CD-ROM ドライブ 、CD-R/RW ドライブまたは CD-R/RW with DVD-ROM ドライブがない状態でご購入いただいたモデルで す。
アプリケーションレス モデル	選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェ ア)がない状態でご購入いただいたモデルです。
Office XP Personal モデル	Office XP Personal <mark>がインストールされた状態でご購入いただ</mark> いたモデルです。
Office XP Professional モデル	Office XP Professional <mark>がインストールされた状態でご購入いた</mark> だいたモデルです。
CD-ROM	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-ROM、DVD-R または DVD- RWを指します。書き分ける必要のある場合は、その媒体の種類 を記載します。
「スタート」ボタン 「終了オプション」	Windows XPでログオンやログオフの方法を変更している場合 は、「終了オプション」のメニューが異なります。 このマニュ アルでは「ようこそ画面」を使用している場合を例に説明して います。
「スタート」ボタン 「コントロールパネル」	Windows XP の「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップ アップメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指 します。また、コントロールパネルはカテゴリ表示された状態 を指します。
「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」	Windows 2000 の スタート ポタンをクリックし、現れたポップ アップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニュー から「コントロールパネル」を選択する操作を指します。
[]	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
r a	『』で囲んである文字は、マニュアルの名称を指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows	Microsoft _® Windows _® XP Professional operating system 日本語版、Microsoft _® Windows _® XP Home Edition operating system日本語版、Microsoft _® Windows _® 2000 Professional operating system日本語版
Windows XP、 Windows XP Professional	Microsoft _® Windows _® XP Professional operating system 日本語版

Windows XP Home, Windows XP Home Edition	Microsoft _® Windows _® XP Home Edition operating system 日本語版
Windows 2000, Windows 2000 Professional	Microsoft _® Windows _® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows NT Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 日本語版および Microsoft® Windows NT® Server Network operating system Version 4.0 日本語版
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 98、 Windows 98 SE	Microsoft⊚ Windows⊚ 98 operating system 日本語版および Microsoft⊚ Windows⊚ 98 Second Edition operating system 日本語版
Office XP Personal	Microsoft _® Office XP Personal
Office XP Professional	Microsoft _® Office XP Professional
MS-IME2002	Microsoft _® IME 2002
MS-IME2000	Microsoft _® IME 2000
Norton AntiVirus	Norton AntiVirus™ 2002
WinDVD 4	InterVideo [®] WinDVD [®] 4 for NEC
RecordNow DX	VERITAS RecordNow DX
DLA	VERITAS DLA
StandbyDisk	StandbyDisk 2000-XP Pro 日本語版

このマニュアルの記載順序

- 1. CPUの性能が高い順に記載しています。
- 2. OS**は、次の順序で記載しています。** Windows XP、Windows XP Home、Windows 2000、Windows NT 4.0、 Windows Me、Windows 98

このマニュアルで使用しているイラスト

- ・このマニュアルに記載のイラストは、実際のものとは異なることがあります。
- このマニュアルに記載のイラストは、特にことわりのない場合、CD-ROMドラ イブが搭載されたモデルのものを使用しています。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープロ グラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化 推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品 の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度 となっています。

対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオ フィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装 置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビ ジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従っ て正しい取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。 (社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基 づく表示)

レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825) クラス1適合のCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブまたはCD-RW with DVD-ROMドライブが搭載されています。

2.4GHzワイヤレス(無線) ANを搭載したモデルの場合

無線の帯域と性能について

本機には、2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、2.4GHz全 帯域(2.4GHz ~ 2.4835GHz)を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域(2.427GHz ~ 2.47075GHz)が回避可能です。

変調方式としてDS-SS方式を採用しており、与干渉距離は40mです。

無線設備について

本機は、日本国における電波電波法施行規則第6条第4項第4号「小電力データ通信システムの無線局」 を満足した無線設備であり、日本国における端末設備等規則第36条「電波を使用する自営電気通信 端末設備」を満足した端末設備です。

分解や改造などを行っての運用は違法であり、処罰の対象になりますので絶対に行わないでください。また、本製品は日本国以外ではご使用になれません。

電波防護標準規格について

本機の電波出力は、社団法人電波産業会が策定した「電波防護標準規格(RCR STD-38)」に基づく基準値を下回っています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれ などお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連 絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかか わらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows XP、Windows XP Homeま たはWindows 2000および本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
- (7) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、 著作権の侵害となります。
- (8) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
- (9) 本書に記載しているWebサイトや連絡先は、2002年11月現在のものです。

輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。 本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業 省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせく ださい。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.

NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.

NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.

Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Corporation, NEC Custom Technica, Ltd.

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、NetMeeting、Outlook、PowerPoint、Bookshelfおよび Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録 商標です。

VERITAS RecordNowおよびVERITAS DLAは、米国VERITAS Software Corp.の米国における 登録商標です。

InterVideo、InterVideoロゴおよびWinDVDは、InterVideo, Inc.の登録商標です。

Copyright 1999, 2002 InterVideo, Incorporated. All rights reserved.

DuoCorはDuoCor, Inc. の登録商標です。

Symantec、Symantecロゴ、pcAnywhereはSymantec Corporationの登録商標であり、Symantec Corporationの各製品名はSymantec Corporationの登録商標または商標です。

©2002 Symantec Corporation. All rights reserved.

Photo CD portions copyright Eastman Kodak Company 1995

Transmeta, the Transmeta logo, Crusoe Processor, the Crusoe logo and combinations there of are trademarks of Transmeta Corporation in the USA and other coutries.

IntelおよびLANDeskは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商 標あるいは登録商標です。

Intel® LANDesk® Client Manager & with NEC Extensions)は、Intel® LANDesk® Client Managerのテクノロジを使用しています。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd. 2002 日本電気株式会社、NECカスタムテクニカ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできま せん。 このマニュアルはPART1からPART4までの構成となっていますが、PART1から順に読んでいく必要はありません。

『はじめにお読みください』でセットアップが完了しましたら、必要に応じて このマニュアルを活用してください。

なお、各PARTの最初のページにも「この章の読み方」と「この章の内容」があり ますので、各PARTを読む前にご覧ください。

また、このマニュアルは検索性を高めるため、目次の次に索引を記載してい ます。

索引に載せてある用語は、目次、注意していただきたい内容(♥チェック?) 用語(●●②)、メモ(メヨ)を検索するのに都合の良い言葉を選んでいます。

目次

索引

PART1 本体の構成各部

本機の外観上に見えるものから内蔵されている機器まで、ハードウェア全般の機能と取り扱いについて説明しています。

PART2 周辺機器を利用する

接続できる周辺機器の概要とメモリ、PCカードなどの周辺機器を増設する方法について説明しています。

PART3 システム設定

本機を使用環境にあわせて設定するための、BIOSセットアップメニューの使 い方を説明しています。

別売の機器を利用するときにも、状況に応じて設定を変更できます。

PART4 付録

本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

はじめに このマニュアルの表記について	3
2.4GHz ワイヤレス(無線) ANを搭載したモデルの場合	
ご注意	9
このマニュアルの構成・読み方	11
目次(このページです)	12
索引	16
本体の構成各部	21
各部の名称	22
本体正面	22
本体右側面	25
本体左側面	26
本体背面	27
電源(Windows XP の場合)	
電源の状態と操作方法	30
電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)	32
スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)	33
休止状態/休止状態からの復帰(電源の手動操作)	37
電源の自動操作	39
電源(Windows XP Home の場合)	41
電源の状態と操作方法	41
電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)	43
スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)	44
休止状態/休止状態からの復帰(電源の手動操作)	48
電源の自動操作	50
電源(Windows 2000 の場合)	52
電源の状態と操作方法	52
電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)	54
スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)	56
休止状態/休止状態からの復帰(電源の手動操作)	59
電源の自動操作	62
キーボード	64
添付されるキーボードの種類	64

PART

目 次

使用上の注意
PS/2 109 キーボード、 USB109 キーボード
テンキー付きPS/2小型キーボード、テンキー付きUSB小型キーボード 68
日本語入力
USB 接続のキーボードの使用上の注意
マウス
マウスについて
ディスプレイ 74
使用上の注意
表示能力
ディスプレイの省電力機能
ハードディスクドライブ
使用上の注意
ドライプ番号の割り当て
(Windows XP および Windows XP Home の場合)
ドライブ番号の割り当て(Windows 2000 の場合)
エラーチェックの操作手順
CD-ROM ドライブ 81
再生できる CD の種類
CD-ROM ドライブ使用上の注意 82
非常時のディスクの取り出し
CD-R/RW ドライブ 84
再生できる CD の種類
CD-R および CD-RW への書き込みおよび CD-RW のフォーマット 84
CD-R/RW ドライブ使用上の注意 85
非常時のディスクの取り出し
CD-R/RW with DVD-ROM ドライブ 86
再生できる CD および DVD の種類 86
CD-R および CD-RW への書き込みおよび CD-RW のフォーマット 87
CD-R/RW with DVD-ROM ドライブ使用上の注意
非常時のディスクの取り出し
サウンド機能 89
音量の調節

LAN (ローカルエリアネットワーク)ボード	90
LAN (ローカルエリアネットワーク)への接続	90
LAN の設定(Windows XP および Windows XP Home の場	合) 91
LAN の設定(Windows 2000 の場合)	92
リモートパワーオン機能の設定	
(Windows XP および Windows XP Home の場合)	93
リモートパワーオン機能の設定(Windows 2000の場合)	95
2.4GHz ワイヤレス(無線) _AN 機能	97
2.4GHz ワイヤレス LAN 使用上の注意	97
2.4GHz ワイヤレス LAN 製品との接続	98
2.4GHz ワイヤレス LAN の設定	99
セキュリティ/マネジメント機能	102
セキュリティ/マネジメント機能の概要	102
セキュリティ機能	103
マネジメント機能	105
信頼性機能	107

PART	周辺機器を利用する	109
•	接続できる周辺機器	
$\boldsymbol{\gamma}$	接続にともなう注意点	111
Ζ	接続前の確認	111
	プラグ&プレイ セットアップについて	111
	デバイスドライバの追加について	112
	接続時に注意すること	113
	接続がうまくできない場合	114
	リソースの競合が起こったら	115
	本体カバー類の取り外し	117
	LCD リアカバーの取り外し	117
	LCD リアカバーの取り付け	119
	増設 RAM ボード(メモリ)の取り外し/取り付け	120
	取り付け前の確認	120
	増設 RAM ボードの取り外し	120
	増設 RAM ボードの取り付け	123

	メモリ容量の確認方法
	PC カードを利用する 12
	PC カードスロットについて 12
	使用上の注意
	PC カードの取り付け 13
	PC カードの取り外し 13
	VersaBay IV を利用する 13
	VersaBay IV で使用できる機器 13
	VersaBay IV の機器を交換する 13
T	システム設定 137
	BIOS セットアップメニューについて
	BIOS セットアップメニューの起動と初期画面
	BIOS セットアップメニューの終了 13
	工場出荷時の設定値に戻す13
	Main の設定 14
	Main の設定
	Advanced の設定 14
	Advanced の設定 14
	Security の設定 14
	Security の設定
	パスワードの解除
	Power の設定 155
	Power の設定
	Boot の設定 15
	起動順位の設定 15
T	付 録 157
	機能一覧15
	型番の読み方 15
	仕様一覧 15
	割り込みレベル・ DMA チャネル 16.
	本機のお手入れ
	マウスのクリーニング 16



英数字

100BASE-TX
109 キーボード 66
10BASE-T
1G //イト
1M バイト
2.4GHz ワイヤレス(無線) LAN 97
2.4GHz ワイヤレス(無線) LAN機能仕様 … 161
AC 電源コネクタ 27
Assign HDD Password 150
BIOS Revision 142
BIOS セットアップメニュー 138
Boot-time Diagnostic Screen 142
CD-R 84
CD-R/RW with DVD-ROM アクセス
ランプ 24
CD-R/RW with DVD-ROM ドライブ
CD-R/RW アクセスランプ 24
CD-R/RW ドライブ 23, 84
CD-ROM 81
CD-ROM アクセスランプ 24
CD-ROM ドライブ 23, 81
CD-RW 84
CD レスモデル 5
Diskette Access 148

DMA チャネル	162
DMI Event Logging	145
DPMS	. 75
Event Logging	145
Extended Memory	142
High-Speed CD-RW	. 84
I/O Device Configuration	143
I/O ロック 104,	151
IEC825	. 7
JEITA	128
JIS	. 7
Keyboard Features	142
LAN ボード機能仕様	160
LAN 用モジュラーコネクタ	. 27
Local Bus IDE adapter	144
MS-IME	. 70
Network Boot Agent	145
Network Boot Setting	149
N キーロールオーバ	. 65
Office XP	. 5
On PME	154
Password On Boot	148
PCI Configuration	143
PCMCIA	128
PC カード	128
PC カードイジェクトボタン	. 26
PC カードスロット	. 26

Plug & Play O/S	143
PME	154
Primary Master	141
Primary Slave	141
PS/2 接続キーボードコネクタ	. 28
PS/2 接続マウスコネクタ	. 29
QuickBoot Mode	144
README ファイル	114
Removable Devices	155
Restore On AC/Power Loss	154
Resume On Modem Ring	154
Resume On Time	154
Secondary Master	141
Secondary Slave	141
Security Mode	148
Set Supervisor Password	147
Set User Password	148
Sound	145
System backup reminder	150
System Memory	142
System Switch	153
USB CD-ROM	156
USB Packet Size	142
USB ケーブルフック	. 28
USB コネクタ 26	, 27
USB ハブ	. 71
VCCI	. 7
VersaBay IV 23,	135
VersaBay IV アンロック 28,	136
Virus check reminder	149

Windows +-	 66,	68
	 00,	· · ·

ア行

赤い「×」	115
ウイルス	104
ウィンドウアクセラレータ	. 74
エネルギースター	. 7
エラーチェック	. 79
音量の調節	. 89

カ行

解像度	74
型番の読み方	158
キーボード	64
キーロールオーバ	65
黄色いり」	115
起動順位	155
輝度調整ボタン	25
休止状態	37, 52
筐体ロック	27, 104
クライアントポリシー管理	105
クライアントモニタリング	106
ケーブルカバー	28
工場出荷時の設定値	139

サ行

サウンド機能	89
自己診断画面	142
資産管理	107
周辺機器	109

重要な情報	114
瞬時電圧低下	. 7
省電力機能	. 75
シリアルコネクタ	. 28
スーパバイザパスワード	147
スキップセクタ	. 77
スタンバイ状態 30	, 52
セキュリティ機能	103
接続可否の確認	111
接続前の確認	111
増設 RAM ボード	120
増設ハードディスクドライブ … 23,	135

タ行

タイマ	39
通風孔	27
ディスクトレイイジェクト	ボタン 24
ディスプレイ	74
デバイスドライバの追加	112
テンキー付きキーボード	68
電源	30, 52
電源スイッチ	22
電源ランプ	22
電波障害自主規制	7
盗難防止用ロック	28
ドライブ番号	78
トラブル解決Q&A	115

ナ行

日本語入力		70
ネットワークフ	/ート機能(PXE 搭載) …	106

八行

ハードディスク/光ディスクアクセス
ランプ 23
ハードディスクドライブ
ハードディスクパスワード 104
ハイパワーデバイス
パケット 105
バックアップ
ハブ
パラレルコネクタ 28
表示色
復帰
プラグ&プレイ 111
不良セクタ 77
ヘッドホン端子/ライン出力端子 25
補足説明 114
ボリュームコントロール
本機 4
本機のお手入れ 164
本体

マ行

マイクロホン端子	25
マウス	73
マネジメント機能 10	05
マルチポートリピータ	90
ミニDIN6ピン	28

ミニジャック	 . 25
メモリ	 120

ヤ行

ユーザパスワード	147
輸出	9

ラ行

 リソース	ライン入力端子		25
 リソースの競合	リソース	1	11
リモートコントロール/ファイル配信 106 リモートパワーオン機能 40, 105 リンクケーブルの接続	リソースの競合	1	15
リモートパワーオン機能 40, 105 リンクケーブルの接続 90 レーザ安全基準	リモートコントロール/ ファイル配信 …	1(06
リンクケーブルの接続	リモートパワーオン機能 … 40,	1	05
レーザ安全基準7 ローパワーデパイス71	リンクケーブルの接続	. 9	90
ローパワーデバイス	レーザ安全基準		7
	ローパワーデバイス		71

ワ行

割り込みレベル	 162



本体の構成各部

本機の外観上に見えるものから、内蔵されている機器まで、ハードウェア 全般の機能と取り扱いについて説明します。

この章の読み方

順番に読んでいく必要はありません。目的にあわせて該当するページを お読みください。

この章の内容

各部の名称	22
電源(Windows XP の場合)	30
電源(Windows XP Homeの場合)	41
電源(Windows 2000 の場合)	52
キーボード	64
マウス	73
ディスプレイ	74
ハードディスクドライブ	76
CD-ROM ドライブ	81
CD-R/RW ドライブ	
CD-R/RW with DVD-ROM ドライブ	
サウンド機能	89
LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード	90
2.4GHz ワイヤレス(無線) _AN機能	97
セキュリティ/マネジメント機能	102



各部の名称

ここでは、本体の各部の名称とその役割について説明しています。各部の 取り扱い方法や詳しい操作方法については、各項目にある参照ページを ご覧ください。





電源スイッチ(())

本体の電源の状態を変更(入れる、スタンバイ/スタンバイからの復帰、休止状態/休止状態からの復帰)するスイッチです。「電源(Windows XP の場合)(P.30)「電源(Windows XP Homeの場合)(P.41)「電源 (Windows 2000の場合)(P.52)

電源ランプ(①)

電源の状態を表示するランプです。電源が入っているときとスタンパイ 状態のときに点灯します。「電源(Windows XPの場合)(P.30)「電源 (Windows XP Homeの場合)(P.41)「電源(Windows 2000の場合)」 (P.52)

ハードディスク/光ディスクアクセスランプ(1000)

IDEデバイスが読み書きしているときに点灯します。

工場出荷時に内蔵されているIDEデバイスは、ハードディスクドライブ (プライマリマスタ)と、モデルによって異なりますが、CD-ROMドライ ブ、CD-R/RWドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブ(セ カンダリマスタ)があります。

「ハードディスクドライブ(P.76)「CD-ROMドライブ(P.81)「CD-R/RWドライブ(P.84)「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ(P.86)

> CD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブ、CD-R/RW with DVD-ROM ド ライブまたは増設ハードディスクドライブ、VersaBay IV対応 または空き

CD-ROMや音楽CDのデータを読み出す装置です。CDレスモデルの場合 は搭載されていません。

「CD-ROM ドライブ(P.81)

さらにCD-R/RWドライブでは、CD-RまたはCD-RWに大容量のデータを 書き込むことができます。CDレスモデルの場合は搭載されていません。 「CD-R/RWドライブ(P.84)

さらにCD-R/RW with DVD-ROM**ドライブでは、**DVD-ROM**のデータ** を読み出すことができます。CDレスモデルの場合は搭載されていませ ん。

「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ(P.86) 増設ハードディスクドライブでは、アプリケーションソフトウェアで作

成したデータなどを保管したり、システムのバックアップを取ることが できます。「ハードディスクドライブ(P.76)

CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMド ライブまたは増設ハードディスクドライブはVersaBay IVに対応してい ますので、取り外して、他のファイルベイ用内蔵機器に交換することが簡 単にできます。なお、CD-ROMドライブなどと増設ハードディスクドラ イブを選択した場合、増設ハードディスクドライブが本体に添付して出 荷されます。ご使用する際は、工場出荷時に内蔵されているCD-ROMド ライブなどを取り外してから実装してください。

ただし、CDレスモデルの場合、アプリケーションのインストールやCドラ イブが起動しない場合の再セットアップなどには別売のVersaBay IV対 応機器(CD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブ、CD-R/RW with DVD-ROM ドライブ)が必要になります。

「PART2 周辺機器を利用する」VersaBay IVを利用する(P.135)

CD-ROM**ドライブ、**CD-R/RW**ドライブおよび**CD-R/RW with DVD-ROM**ドライブ拡大図**



-a ディスクトレイイジェクトボタン

トレイを出し入れするときに使います。

-b CD-ROM**アクセスランプ**

CD-ROM ドライブが動作しているときに点灯します。

- - ・ CD-ROMアクセスランプ点灯中は、VersaBay を取り外さないでくだ さい。VersaBay は電源が切れている状態で取り外してください。

-c CD-R/RW**アクセスランプ**

CD-R/RW ドライブが動作しているときに点灯します。

- チェック パ・CD-R/RWアクセスランプ点灯中は電源スイッチやディスクトレイイジェクトボタンを押さないでください。CD-RやCD-RWの内容がこわれたり、 故障の原因となります。
 - CD-R/RWアクセスランプ点灯中は、VersaBay を取り外さないでください。
 VersaBay は電源が切れている状態で取り外してください。

-d CD-R/RW with DVD-ROMアクセスランプ

CD-R/RW with DVD-ROM ドライブが動作しているときに点灯します。

- ・ CD-R/RW with DVD-ROMアクセスランプ点灯中は電源スイッチやディ スクトレイイジェクトボタンを押さないでください。CD-RやCD-RWの 内容がこわれたり、故障の原因になります。
 - CD-R/RW with DVD-ROMアクセスランプ点灯中は、VersaBay を 取り外さないでください。VersaBay は電源が切れている状態で取り外 してください。

輝度調整ボタン

液晶ディスプレイの輝度を調整するボタンです。左のボタンを押すと輝 度が下がり、右のボタンを押すと輝度が上がります。

内蔵スピーカボリューム

内蔵スピーカ、またはヘッドホン端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。左に動かすと音量が小さくなり、右に動かすと大きくなります。「サウンド機能(P.89)

本体右側面



ヘッドホン端子/ライン出力端子((**))

ミニプラグのステレオヘッドホンを接続します。また、市販のオーディオ 機器などに音声信号を出力します。なお、ヘッドホンを接続すると内蔵ス ピーカからの音は出なくなります。ヘッドホンを耳にあてたままジャッ クの抜き差しをしないでください。

ライン入力端子(ミニジャック)(() 🕀)

市販のオーディオ機器から音声信号を入力します。

マイクロホン端子(ミニジャック)() 🔊)

市販のマイクロホンを接続します。

本体左側面



PCカードイジェクトボタン

PCカードを取り出すときに使います。

PC**カードスロット(**一)

PCカードを接続します。

「PART2 周辺機器を接続する」PCカードを利用する(P.128)

USB**コネクタ(-↔)**

USB機器を接続します。USB2.0/1.1機器に対応しています。USB2.0の転 送速度を出すためには、USB2.0対応の機器を接続する必要があります。 「キーボード(P.64) 本体背面



AC**電源コネクタ(**----)

ACコンセントから本体に100Vの電源を供給するためのコネクタです。 添付のACアダプタを接続します。

LAN用モジュラーコネクタ(品)

本機にはLANボードが内蔵されていますので、LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続することができます。

「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード(P.90)

筐体ロック(🕅)

ロック付き盗難防止ケーブルを取り付けます。 「セキュリティ/マネジメント機能(P.102)

通風孔

本体内部の熱を逃すための通風孔です。ケーブルカパー内部にもありま す。

USB**コネクタ(・↔)**

USB機器を接続します。USB2.0/1.1機器に対応しています。USB2.0の転 送速度を出すためには、USB2.0対応の機器を接続する必要があります。

「キーボード(P.64)

USBケーブルフック

USB機器のケーブルが抜けるのを防止します。

VersaBay IV**アンロック**

VersaBay IVに内蔵されている機器を取り出すためのボタンです。筐体 ロックと共用することで、本体およびVersaBay IVに内蔵されている機 器の盗難を防止します。「セキュリティ/マネジメント機能(P.102) 「PART2 周辺機器を利用する」VersaBay IVを利用する(P.135)

盗難防止用ロック

本体に内蔵されているメモリや機器の盗難を防止します。 「セキュリティ/マネジメント機能(P.102)

ケーブルカバー

接続されたケーブル機器のインタフェース部分を保護します。ケーブル を束ねる役割もあります。

ケーブルカバー内部拡大図



-a パラレルコネクタ(昌)

プリンタなどの機器を接続します。

● チェック パラレルコネクタでは、変換アダプタを利用した周辺機器の接続はできません。
 ん。

-b シリアルコネクタ(10101)

モデムやISDN TAなどの機器を接続します。

● チェック / シリアルコネクタでは、変換アダプタを利用した周辺機器の接続はできません。

-c PS/2接続キーボードコネクタ(……)

PS/2接続のキーボードのモデルでは、PS/2接続のキーボード(ミニDIN6 ピン)を接続します。「キーボード (P.64) -d PS/2接続マウスコネクタ(ウ)

PS/2 109キーボードのモデルでは、PS/2接続のマウス(ミニDIN6ピン) を接続します。テンキー付きPS/2小型キーボードのモデルでは、キー ボードのケーブルがキーボード用とマウス用に分岐しているので、マウ ス用のケーブルを接続します。なお、PS/2接続のマウスはキーボードに 接続します。「マウス(P.73)



電源(Windows XP**の場合)**

ここでは電源の入れ方と切り方や省電力機能について説明します。電源の切り方を間違えるとデータやプログラム、本機がこわれてしまうことがあるので、特に注意してください。

電源の状態と操作方法

電源の状態

本体の電源の状態には次のように「電源が切れている状態」電源が入っ ている状態」スタンバイ状態」休止状態」の4つの状態があります。



電源が切れている状態

Windows XPを終了するなどして本体を使用していない状態です。

電源が入っている状態

通常、本体を使用している状態です。

スタンバイ状態

作業中のデータを一時的にメモリへ保存し、ハードディスクドライブ などのモータを停止する、ディスプレイを省電力の状態にするなどし て消費電力を抑えますが、メモリ内のデータを保持するための電力は 供給されている状態です。作業中の内容がメモリ内に保存されている ため、スタンバイ状態から復帰するときは素早く元の状態に戻ります。

休止状態

メモリの情報をすべてハードディスクドライブに保存した後で、本体 の電源を切ります。もう一度電源を入れると、電源を切ったときと同じ 状態で復元されます。本体の電源を切るため、「休止状態からの復帰」は 「スタンパイからの復帰」より遅くなります。

電源の状態によるランプとディスプレイの表示は、次の通りです。

電源の状態	電源ランプ	ディスプレイの表示
電源が入っている	緑色に点灯	表示される
電源が切れている	点灯しない	表示されない
スタンバイ状態	オレンジ色に点灯	表示されない
休止状態	点灯しない	表示されない

電源の操作方法

電源を操作するには次の方法があります。詳しくは、後述の電源についての記載をご覧ください。

電源を入れる

電源スイッチを押す		電源の操作方法	
	電源スイッチを押す		

電源を切る

電源	の操作方法
Windows XPの「スタート」ボタン	「終了オプション」ボタンをクリックし、
「電源を切る」ボタンをクリックする	
Timer-NXを利用する	

スタンバイ状態にする

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Windows XPの「スタート」ボタン 「 終了オプション」ボタンをクリックし、
「スタンバイ」ボタンをクリックする
「コントロールパネル」 「パフォーマンスとメンテナンス」 「電源オプション」
の「電源設定」で設定する
LANによるリモートパワーオフ機能を利用する

スタンバイ状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
マウスを動かす。またはキーボードのキーを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する

休止状態にする

電源の操作方法
電源スイッチを押す
「コントロールパネル」「パフォーマンスとメンテナンス」「電源オプション」の「電
源設定」で設定する
LANによるリモートパワーオフ機能を利用する

休止状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する

電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)

電源を入れる

電源が切れている状態から電源を入れるには、必ず次の手順に従って正 しく電源を入れてください。

- ▼チェック! 電源を入れる操作は、電源が切れてから5秒以上の間隔をあけて行ってください。
 - 1 周辺機器の電源を入れる
 - 2 本体の電源スイッチを押す
- チェック ?! メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示 されるまでの時間は、メモリの組み合わせによって変わってきます。512MB を1枚増設した場合、約6秒かかります。

電源を切る

電源が入っている状態から電源を切るには、次の手順を行ってください。

▼チェック? 電源投入後、Windows XPの起動中やアプリケーションの起動中には、電源 を切らないでください。マウスポインタが、砂時計表示されていないこと、お よびハードディスクアクセスランプやディスクアクセスランプが点灯してい ないことを確認してから電源を切るようにしてください。

- 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する
- 2 「スタート」ボタン 「終了オプション」ボタンをクリック
- 3 「電源を切る」ボタンをクリック 本体の電源はソフトウェアによって自動的に切れますので、終了 処理中に電源スイッチを押さないでください。
- **4** 本体の電源が切れたことを確認したら、周辺機器の電源を切る

⚠注意

Windows XPの動作中は、電源スイッチを押して電源を切らないでく ださい。ソフトウェアなどのエラーでWindows XPが操作できなくなって しまった場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A (Windows XP、Windows 2000 Professional)」「電源を切ろうと したが…」をご覧ください。

メモ

「電源オプション」では次の設定が行えます。

- ・電源スイッチの変更(スリープ、休止状態、シャットダウン)
- ・ 電源の自動操作(システムスタンパイ、システム休止状態)

参照 / 電源オプション」の設定の変更 Windows XPのヘルプ

スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を一時中断する場合は、スタンパイ状態にすることによっ て電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチに よってスタンパイ状態にするには、「電源オプション」の設定を変更する 必要があります。

参照/「電源オプション」の設定の変更 Windows XPのヘルプ

 ✓ チェック // スタンバイ/スタンバイ状態から復帰する操作は、スリープランプが消灯して から5秒以上の間隔をあけて行ってください。

スタンバイ状態にする

電源が入っている状態から手動でスタンバイ状態にするには、次の方法 があります。

「スタート」ボタンによる方法

- 1 「スタート」ボタン 「終了オプション」ボタンをクリック
- 2 「スタンパイ」をクリック 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンパイ状態になります。

電源スイッチによる方法

1 電源スイッチを押す 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。

∕∕∖注意

電源スイッチを押してスタンバイ状態にする場合は、電源スイッチを4秒 以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的 に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

スタンバイ状態から復帰する

スタンパイ状態から手動で電源が入っている状態に復帰するためには、 次の方法があります。なお、本機をキーボード/マウスによってスタンパ イ状態から復帰するには、キーボード/マウスのプロパティの「電源の管 理」タブにある「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除 できるようにする」がチェックされている必要があります。

参照/「キーボード」または「マウス」の設定の変更 Windows XPのヘルプ

入力デバイスによる方法

マウスを動かすか、キーボードのキーを押す
 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンバイ状態から復帰します。

電源スイッチによる方法

1 電源スイッチを押す 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンパイ状態から復帰します。

⚠注意

電源スイッチを押してスタンバイ状態から復帰する場合は、電源スイッ チを4秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続ける と強制的に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

スタンバイ機能を使用するときの注意

スタンバイ機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと、スタンバイ状態にするときの作業中のデータが 失われたり、元通りに復帰できないこともあります。

スタンバイ状態にする前の内容が失われるとき

スタンバイ状態のときに次のことが起きると、スタンバイ状態にする ときの作業中のデータは失われます。

- ・電源ケーブルが本体やACコンセントから外れたとき
- ・停電が起きたとき
- ・電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき

スタンバイ状態からの復帰が保証されないとき スタンバイ状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または スタンバイ状態からの復帰中にCD-ROMを取り出したり、交換した場 合は、スタンバイ状態にするときの作業中のデータは保証されません。

また、次のような状態でスタンバイ状態にすると、作業中のデータは保 証されません。

・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき

- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- スタンバイ機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- ・スタンバイ機能に対応していない周辺機器を使用中のとき
- ・ Windows XPの起動処理中、終了処理中のとき
- 通信用ソフトウェアでLANなどを使ってネットワークに接続して いるとき

その他の注意

- ・通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを 終了させてから、スタンバイ状態にしてください。通信状態のままス タンバイ状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金が加 算される場合があります。
- CD-ROM ドライブにフォトCDが入っているときにスタンバイ状態
 にした場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。
- ・CDの再生中にスタンバイ状態にした場合、CDは再生され続ける場合 があります。スタンバイ状態にする前にCDの再生を止めてください。
- ・SCSI PCカードを使用している場合、接続されている機器によって は正しくスタンバイ状態から復帰できない場合があります。このような場合は、スタンバイ状態にしないでください。
- スタンバイ状態からの復帰を行った場合、ディスプレイに何も表示 されない状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすか キーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示さ れます。

スタンパイ状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、スタンパイ状態からの復帰が正しく実行されな かったことを表しています。

- ・アプリケーションが動作しない
- ・スタンバイ状態にする前の内容を復元できない
- ・USB接続のマウスまたはキーボード、電源スイッチを押してもスタンバイ状態から復帰しない

このような状態になるアプリケーションを使用中には、スタンバイ機 能は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できな かったときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源 ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、BIOSセットアップ メニューの内容が、工場出荷時の状態に戻っていることがあります。必 要な場合は、再設定してください。
休止状態/休止状態からの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を長時間中断する場合は、休止状態にすることによって電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチによって休止状態にするには、「電源オプション」の設定を変更する必要があります。

参照 「電源オプション」の設定の変更 Windows XPのヘルプ

休止状態にする

電源が入っている状態から手動で休止状態にするには、次の手順があり ます。

1 電源スイッチを押す

作業状態をハードディスクドライブに保存し、本機の電源が切れ、 休止状態になります。

▲注意

電源スイッチを押して休止状態にする場合は、電源スイッチを4秒以上 押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的に電 源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

休止状態から復帰する

休止状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、次の手順が あります。

1 電源スイッチを押す

Windows XPが起動し、前回休止状態機能を使用して電源を切ったときと同じ状態に復元されます。

休止状態機能を使用するときの注意

休止状態機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと休止状態にするときのデータが失われたり、元通 りに復帰できないこともあります。 休止状態からの復帰が保証されないとき

休止状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または休止状 態からの復帰中に次のようなことを行うと、休止状態にするときの作 業中のデータは保証されません。

- CD-ROMを取り出したり、交換したとき
- ・ PCカードの抜き差しをするなど、本機の環境や構成を変更したとき
- ・周辺機器の構成を変更(取り付け/取り外し)したとき

また、次のような状態で休止状態にすると、作業中のデータは保証され ません。

- ・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- 休止状態機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- 休止状態機能に対応していない周辺機器や拡張ボードを使用中の とき
- ・ Windows XPの起動処理中、終了処理中のとき
- 通信用ソフトウェアでLANなどを使ってネットワークに接続して いるとき

その他の注意

- ・通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを 終了させてから、スタンバイ状態にしてください。通信状態のまま スタンバイ状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金 が加算される場合があります。
- CD-ROM ドライブにフォトCDが入っているときに休止状態にした 場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。
- 休止状態からの復帰を行った場合、ディスプレイに何も表示されない 状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすかキーボー ドのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- ・ SCSI PCカードを使用している場合、接続されている機器によって は正しく休止状態から復帰できない場合があります。このような場 合は、休止状態にしないでください。

休止状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、休止状態からの復帰が正しく実行されなかった ことを表しています。

- ・ アプリケーションが動作しない
- ・休止状態にする前の内容に復帰できない

・ 電源スイッチを押しても休止状態から復帰できない

このような状態になるアプリケーションを使用中には、休止状態機能 は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できなかっ たときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源ラン プが消え、電源が強制的に切れます。

この場合、BIOSセットアップメニューの内容が工場出荷時の状態に 戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

電源の自動操作

タイマ(「電源オプション」、Timer-NX)、LAN、回線からのアクセス(リ モートパワーオン機能)によって、自動的に電源の操作を行うことができ ます。

チェック? タイマ、LANの自動操作によるスタンバイ状態からの復帰を行った場合、本体はスタンバイから復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合、マウスを動かすかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが表示されます。

「電源オプション」

「コントロールパネル」「パフォーマンスとメンテナンス」をクリック し、「電源オプション」の「システムスタンパイ」を設定しておくと、設定し た時間を経過しても、マウスやキーボードからの入力およびハードディ スクドライブへのアクセスなどがない場合、自動的にディスプレイの電 源を切ったり、スタンパイ状態にすることができます。 また、「電源オプション」の「システム休止状態」を設定しておくと、設定し た時間を経過しても、マウスやキーボードからの入力およびハードディ スクドライブへのアクセスなどがない場合、自動的に休止状態にするこ とができます。工場出荷時は、約20分でディスプレイの電源を、約30分で ハードディスクドライブの電源を切るように設定されています。

参照 / 電源オプション」の設定の変更 Windows XPのヘルプ

Timer-NX

「Timer-NX」のタイマ機能およびオフタイマ機能を使って、指定した時刻 に電源を切る、またはスタンバイ状態/休止状態から復帰することができ ます。

参照
『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加
(Windows XP Professional、Windows XP Home Edition)」
Timer-NX、Timer-NXのヘルプ

リモートパワーオン機能(LANによる電源の自動操作)

LAN(ローカルエリアネットワーク)経由で、離れたところにあるパソコンの電源を操作する機能です。

- 参照 ・「セキュリティ/マネジメント機能」マネジメント機能」リモートパワー オン機能 Remote Power On機能)(P.105)
 - ・「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード」リモートパワーオン機能の 設定(Windows XPおよびWindows XP Homeの場合)(P.93)

電源(Windows XP Home**の場合)**

ここでは電源の入れ方と切り方や省電力機能について説明します。電源の切り方を間違えるとデータやプログラム、本機がこわれてしまうことがあるので、特に注意してください。

電源の状態と操作方法

電源の状態

本体の電源の状態には次のように「電源が切れている状態」電源が入っている状態」スタンバイ状態」休止状態」の4つの状態があります。



電源が切れている状態

Windows XP Homeを終了するなどして本体を使用していない状態 です。

電源が入っている状態

通常、本体を使用している状態です。

スタンバイ状態

作業中のデータを一時的にメモリへ保存し、ハードディスクドライブ などのモータを停止する、ディスプレイを省電力の状態にするなどし て消費電力を抑えますが、メモリ内のデータを保持するための電力は 供給されている状態です。作業中の内容がメモリ内に保存されている ため、スタンバイ状態から復帰するときは素早く元の状態に戻ります。

休止状態

メモリの情報をすべてハードディスクドライブに保存した後で、本体 の電源を切ります。もう一度電源を入れると、電源を切ったときと同じ 状態で復元されます。本体の電源を切るため、「休止状態からの復帰」は 「スタンパイからの復帰」より遅くなります。

電源の状態によるランプとディスプレイの表示は、次の通りです。

電源の状態	電源ランプ	ディスプレイの表示
電源が入っている	緑色に点灯	表示される
電源が切れている	点灯しない	表示されない
スタンバイ状態	オレンジ色に点灯	表示されない
休止状態	点灯しない	表示されない

電源の操作方法

電源を操作するには次の方法があります。詳しくは、後述の電源についての記載をご覧ください。

電源を入れる

電源の操作方法	
電源スイッチを押す	

電源を切る

電源の操作方法	5
Windows XP Homeの「スタート」ボタン	「終了オプション」ボタンをクリッ
クし、「電源を切る」ボタンをクリックする	
Timer-NXを利用する	

スタンバイ状態にする

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Windows XP Homeの「スタート」ボタン 「終了オプション」ボタンをクリッ
クし、「スタンバイ」ボタンをクリックする
「コントロールパネル 」 「 パフォーマンスとメンテナンス 」 「 電源オプション 」
の「電源設定」で設定する
LANによるリモートパワーオフ機能を利用する

スタンバイ状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
マウスを動かす。またはキーボードのキーを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する

| 本体の構成各部

休止状態にする

電源の操作方法
電源スイッチを押す
「コントロールパネル」「パフォーマンスとメンテナンス」「電源オプション」の「電
源設定」で設定する
LANによるリモートパワーオフ機能を利用する

休止状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する

電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)

電源を入れる

電源が切れている状態から電源を入れるには、必ず次の手順に従って正 しく電源を入れてください。

- ▼チェック 電源を入れる操作は、電源が切れてから5秒以上の間隔をあけて行ってください。
 - 1 周辺機器の電源を入れる
 - 2 本体の電源スイッチを押す
- チェック ?! メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示 されるまでの時間は、メモリの組み合わせによって変わってきます。512MB を1枚増設した場合、約6秒かかります。

電源を切る

電源が入っている状態から電源を切るには、次の手順を行ってください。

- 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する
- 2 「スタート」ボタン 「終了オプション」ボタンをクリック
- 3 「電源を切る」ボタンをクリック 本体の電源はソフトウェアによって自動的に切れますので、終了 処理中に電源スイッチを押さないでください。
- **4** 本体の電源が切れたことを確認したら、周辺機器の電源を切る

⚠注意

Windows XP Homeの動作中は、電源スイッチを押して電源を切らな いでください。ソフトウェアなどのエラーでWindows XP Homeが操作 できなくなってしまった場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』「トラブ ル解決Q&A(Windows XP、Windows 2000 Professional)」「電 源を切ろうとしたが…」をご覧ください。

メモ

「電源オプション」では次の設定が行えます。

- ・電源スイッチの変更(スリープ、休止状態、シャットダウン)
- ・ 電源の自動操作(システムスタンバイ、システム休止状態)

参照 「電源オプション」の設定の変更 Windows XP Homeのヘルプ

スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を一時中断する場合は、スタンパイ状態にすることによっ て電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチに よってスタンパイ状態にするには、「電源オプション」の設定を変更する 必要があります。

参照 / 「電源オプション」の設定の変更 Windows XP Homeのヘルプ

スタンバイ状態にする

電源が入っている状態から手動でスタンバイ状態にするには、次の方法 があります。

「スタート」ボタンによる方法

- 1 「スタート」ボタン 「終了オプション」ボタンをクリック
- 2 「スタンバイ」をクリック 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。

電源スイッチによる方法

1 電源スイッチを押す 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンパイ状態になります。

⚠注意

電源スイッチを押してスタンバイ状態にする場合は、電源スイッチを4秒 以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的 に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

スタンバイ状態から復帰する

スタンパイ状態から手動で電源が入っている状態に復帰するためには、 次の方法があります。なお、本機をキーボード/マウスによってスタンパ イ状態から復帰するには、キーボード/マウスのプロパティの「電源の管 理」タブにある「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除 できるようにする」がチェックされている必要があります。

- - 参照/「キーボード」または「マウス」の設定の変更 Windows XP Homeのヘルプ

入力デバイスによる方法

 チェック // 入力デバイスによるスタンバイ状態からの復帰は、USB接続のキーボード/ マウスで可能です。PS/2接続のキーボード/マウスでは復帰できません。

マウスを動かすか、キーボードのキーを押す
 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンバイ状態から復帰します。

電源スイッチによる方法

1 電源スイッチを押す 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンパイ状態から復帰します。

⚠注意

電源スイッチを押してスタンバイ状態から復帰する場合は、電源スイッ チを4秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続ける と強制的に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

スタンバイ機能を使用するときの注意

スタンバイ機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと、スタンバイ状態にするときの作業中のデータが 失われたり、元通りに復帰できないこともあります。

スタンバイ状態にする前の内容が失われるとき

スタンバイ状態のときに次のことが起きると、スタンバイ状態にする ときの作業中のデータは失われます。

- ・電源ケーブルが本体やACコンセントから外れたとき
- ・停電が起きたとき
- ・電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき

スタンバイ状態からの復帰が保証されないとき スタンバイ状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または スタンバイ状態からの復帰中にCD-ROMを取り出したり、交換した場 合は、スタンパイ状態にするときの作業中のデータは保証されません。

また、次のような状態でスタンバイ状態にすると、作業中のデータは保 証されません。

・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき

- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- スタンバイ機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- ・スタンバイ機能に対応していない周辺機器を使用中のとき
- ・ Windows XP Homeの起動処理中、終了処理中のとき
- 通信用ソフトウェアでLANなどを使ってネットワークに接続して いるとき

その他の注意

- ・通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを 終了させてから、スタンバイ状態にしてください。通信状態のままス タンバイ状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金が加 算される場合があります。
- CD-ROM ドライブにフォトCDが入っているときにスタンバイ状態
 にした場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。
- ・CDの再生中にスタンバイ状態にした場合、CDは再生され続ける場合 があります。スタンバイ状態にする前にCDの再生を止めてください。
- SCSI PCカードを使用している場合、接続されている機器によって は正しくスタンバイ状態から復帰できない場合があります。このような場合は、スタンバイ状態にしないでください。
- スタンバイ状態からの復帰を行った場合、ディスプレイに何も表示 されない状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすか キーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示さ れます。

スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されな かったことを表しています。

- ・アプリケーションが動作しない
- ・スタンバイ状態にする前の内容を復元できない
- ・USB接続のマウスまたはキーボード、電源スイッチを押してもスタンバイ状態から復帰しない

このような状態になるアプリケーションを使用中には、スタンパイ機能は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できなかったときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、BIOSセットアップメニューの内容が、工場出荷時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

休止状態/休止状態からの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を長時間中断する場合は、休止状態にすることによって電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチによって休止状態にするには、「電源オプション」の設定を変更する必要があります。

参照 / 「電源オプション」の設定の変更 Windows XP Homeのヘルプ

休止状態にする

電源が入っている状態から手動で休止状態にするには、次の手順があり ます。

1 電源スイッチを押す

作業状態をハードディスクドライブに保存し、本機の電源が切れ、 休止状態になります。

⚠注意

電源スイッチを押して休止状態にする場合は、電源スイッチを4秒以上 押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的に電 源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

休止状態から復帰する

休止状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、次の手順が あります。

1 電源スイッチを押す

Windows XP Homeが起動し、前回休止状態機能を使用して電源 を切ったときと同じ状態に復元されます。

休止状態機能を使用するときの注意

休止状態機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと休止状態にするときのデータが失われたり、元通 りに復帰できないこともあります。 休止状態からの復帰が保証されないとき

休止状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または休止状 態からの復帰中に次のようなことを行うと、休止状態にするときの作 業中のデータは保証されません。

- CD-ROMを取り出したり、交換したとき
- ・ PCカードの抜き差しをするなど、本機の環境や構成を変更したとき
- ・周辺機器の構成を変更(取り付け/取り外し)したとき

また、次のような状態で休止状態にすると、作業中のデータは保証され ません。

- ・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- 休止状態機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- 休止状態機能に対応していない周辺機器や拡張ボードを使用中の とき
- ・ Windows XPの起動処理中、終了処理中のとき
- 通信用ソフトウェアでLANなどを使ってネットワークに接続して いるとき

その他の注意

- ・通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを 終了させてから、スタンバイ状態にしてください。通信状態のまま スタンバイ状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金 が加算される場合があります。
- CD-ROM ドライブにフォトCDが入っているときに休止状態にした 場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。
- 休止状態からの復帰を行った場合、ディスプレイに何も表示されない 状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすかキーボー ドのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- ・ SCSI PCカードを使用している場合、接続されている機器によって は正しく休止状態から復帰できない場合があります。このような場 合は、休止状態にしないでください。

休止状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、休止状態からの復帰が正しく実行されなかった ことを表しています。

- ・ アプリケーションが動作しない
- ・ 休止状態にする前の内容に復帰できない

 ・
 電源スイッチを押しても休止状態から復帰できない

このような状態になるアプリケーションを使用中には、休止状態機能 は使わないでください、万一、電源スイッチを押しても復帰できなかっ たときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源ラン プが消え、電源が強制的に切れます。

この場合、BIOSセットアップメニューの内容が工場出荷時の状態に 戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

電源の自動操作

タイマ(「電源オプション」、Timer-NX) LAN、回線からのアクセス(リ モートパワーオン機能とよって、自動的に電源の操作を行うことができ ます。

♥チェック/ タイマ、LANの自動操作によるスタンパイ状態からの復帰を行った場合、本 体はスタンバイから復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない 状態になることがあります。この場合、マウスを動かすかキーボードのキーを 押すことによってディスプレイが表示されます。

「電源オプション」

「コントロールパネル」「パフォーマンスとメンテナンス をクリック し、「電源オプション」の「システムスタンバイ」を設定しておくと、設定し た時間を経過しても、マウスやキーボードからの入力およびハードディ スクドライブへのアクセスなどがない場合、自動的にディスプレイの電 源を切ったり、スタンバイ状態にすることができます。 また、「電源オプション」の「システム休止状態」を設定しておくと、設定し た時間を経過しても、マウスやキーボードからの入力およびハードディ スクドライブへのアクセスなどがない場合、自動的に休止状態にするこ とができます。工場出荷時は、約20分でディスプレイの電源を、約30分で ハードディスクドライブの電源を切るように設定されています。

参照 / 電源オプション」の設定の変更 Windows XP Homeのヘルプ

Timer-NX

「Timer-NX」のタイマ機能およびオフタイマ機能を使って、指定した時刻 に電源を切る、またはスタンバイ状態/休止状態から復帰することができ ます。

参照 / 『活用ガイド ソフトウェア編』 アプリケーションの概要と削除/追加 (Windows XP Professional, Windows XP Home Edition) Timer-NX Timer-NXのヘルプ

50 電源(Windows XP Homeの場合)

リモートパワーオン機能(LANによる電源の自動操作)

LAN(ローカルエリアネットワーク)経由で、離れたところにあるパソコンの電源を操作する機能です。

- 参照 ・「セキュリティ/マネジメント機能」マネジメント機能」リモートパワー オン機能 Remote Power On機能)(P.105)
 - ・「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード」リモートパワーオン機能の 設定(Windows XPおよびWindows XP Homeの場合)(P.93)



電源(Windows 2000の場合)

ここでは電源の入れ方と切り方や省電力機能について説明します。電源の切り方を間違えるとデータやプログラム、本機がこわれてしまうことがあるので、特に注意してください。

電源の状態と操作方法

電源の状態

本体の電源の状態には次のように「電源が切れている状態」電源が入っ ている状態」スタンバイ状態」休止状態」の4つの状態があります。



電源が切れている状態

Windows 2000を終了するなどして本体を使用していない状態です。

電源が入っている状態

通常、本体を使用している状態です。

スタンバイ状態

作業中のデータを一時的にメモリへ保存し、ハードディスクドライブ などのモータを停止する、ディスプレイを省電力の状態にするなどし て消費電力を抑えますが、メモリ内のデータを保持するための電力は 供給されている状態です。作業中の内容がメモリ内に保存されている ため、スタンバイ状態から復帰するときは素早く元の状態に戻ります。

休止状態

メモリの情報をすべてハードディスクドライブに保存した後で、本体 の電源を切ります。もう一度電源を入れると、電源を切ったときと同じ 状態で復元されます。本体の電源を切るため、「休止状態からの復帰」は 「スタンパイからの復帰」より遅くなります。

電源の状態によるランプとディスプレイの表示は、次の通りです。

電源の状態	電源ランプ	ディスプレイの表示
電源が入っている	緑色に点灯	表示される
電源が切れている	点灯しない	表示されない
スタンバイ状態	オレンジ色に点灯	表示されない
休止状態	点灯しない	表示されない

電源の操作方法

電源を操作するには次の方法があります。詳しくは、後述の電源について の記載をご覧ください。

電源を入れる

	電源の操作方法	
電源スイッチを押す		

電源を切る

電源の操作方法
Windows 2000の終了メニューから「シャットダウン」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
Timer-NXを利用する

スタンバイ状態にする

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Windows 2000の終了メニューから「スタンバイ」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
「コントロールパネル」 「電源オプション」の「詳細」で設定する
LANによるリモートパワーオフ機能を利用する

スタンバイ状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
マウスを動かす。またはキーボードのキーを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する

休止状態にする

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Windows 2000の終了メニューから「休止状態」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
「コントロールパネル」 「電源オプション」の「詳細」で設定する
LANによるリモートパワーオフ機能を利用する

休止状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する

電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)

電源を入れる

電源が切れている状態から電源を入れるには、必ず次の手順に従って正 しく電源を入れてください。

- - 1 周辺機器の電源を入れる
 - 2 本体の電源スイッチを押す
- チェック // メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示 されるまでの時間は、メモリの組み合わせによって変わってきます。512MB を1枚増設した場合、約6秒かかります。

電源を切る

電源が入っている状態から電源を切るには、次の手順を行ってください。

- ◆チェック? 電源投入後、Windows 2000の起動中やアプリケーションの起動中には、電源を切らないでください。マウスポインタが、砂時計表示されていないこと、およびハードディスクアクセスランプやディスクアクセスランプが点灯していないことを確認してから電源を切るようにしてください。
 - 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する
 - 2 「スタート」ボタン 「シャットダウン」をクリック
 - 3 「シャットダウン」を選択して「OK」ボタンをクリック 本体の電源はソフトウェアによって自動的に切れますので、終了 処理中に電源スイッチを押さないでください。
 - 4 本体の電源が切れたことを確認したら、周辺機器の電源を切る

⚠注意

Windows 2000の動作中は、電源スイッチを押して電源を切らないで ください。ソフトウェアなどのエラーでWindows 2000が操作できなくな ってしまった場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A (Windows XP、Windows 2000 Professional)」「電源を切ろうと したが…」をご覧ください。

メモ

「電源オプション」では次の設定が行えます。

- ・電源スイッチの変更(スタンパイ、休止状態、電源オフ)
- ・ 電源の自動操作(システムスタンバイ、システム休止状態)
- 参照 / 「電源オプション」の設定の変更 Windows 2000のヘルプ

スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を一時中断する場合は、スタンバイ状態にすることによっ て電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチに よってスタンバイ状態にするには、「電源オプション」の設定を変更する 必要があります。

参照 / 電源オプション」の設定の変更 Windows 2000のヘルプ

✓チェック パイ/スタンバイ状態から復帰する操作は、スリープランプが消灯して
 から5秒以上の間隔をあけて行ってください。

スタンバイ状態にする

電源が入っている状態から手動でスタンバイ状態にするには、次の方法 があります。

「スタート」ボタンによる方法

- **1** 「スタート」ボタン 「シャットダウン」をクリック
- 2 「スタンバイ」を選択して「OK」ボタンをクリック 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。

電源スイッチによる方法

電源スイッチを押す
 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。

⚠注意

電源スイッチを押してスタンバイ状態にする場合は、電源スイッチを 4秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると 強制的に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。 スタンバイ状態から復帰する

スタンパイ状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、次の 方法があります。なお、本機を入力デパイス(キーボードまたはマウス)に よってスタンパイ状態から復帰するには、「キーボード」または「マウス」 の設定を変更する必要があります。

参照 / 「キーボード」または「マウス」の設定 Windows 2000のヘルプ

入力デバイスによる方法

- チェック ハカデバイスによるスタンバイ状態からの復帰は、USB接続のキーボード/
 マウスで可能です。PS/2接続のキーボード/マウスでは復帰できません。
 - マウスを動かすか、キーボードのキーを押す
 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンバイ状態から復帰します。

電源スイッチによる方法

1 電源スイッチを押す 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンパイ状態から復帰します。

⚠注意

電源スイッチを押してスタンバイ状態から復帰する場合は、電源スイッ チを4秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続 けると強制的に電源が切れ、保存していないデータは失われてしま います。

スタンバイ機能を使用するときの注意

スタンバイ機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと、スタンバイ状態にするときの作業中のデータが 失われたり、元通りに復帰できないこともあります。

スタンバイ状態にする前の内容が失われるとき スタンバイ状態のときに次のことが起きると、スタンバイ状態にする ときの作業中のデータは失われます。

- ・電源ケーブルが本体やACコンセントから外れたとき
- ・ 停電が起きたとき
- 電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき

スタンバイ状態からの復帰が保証されないとき

スタンバイ状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または スタンバイ状態からの復帰中にCD-ROMを取り出したり、交換した場 合は、スタンバイ状態にするときの作業中のデータは保証されません。

また、次のような状態でスタンバイ状態にすると、作業中のデータは保 証されません。

- ・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- スタンバイ機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- スタンバイ機能に対応していない周辺機器を使用中のとき
- ・ Windows 2000の起動処理中、終了処理中のとき
- 通信用ソフトウェアでLANなどを使ってネットワークに接続して いるとき

その他の注意

- ・通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを 終了させてから、スタンバイ状態にしてください。通信状態のまま スタンバイ状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金 が加算される場合があります。
- CD-ROMドライブにフォトCDが入っているときにスタンバイ状態
 にした場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。
- ・ CDの再生中にスタンバイ状態にした場合、CDは再生され続ける場合があります。スタンバイ状態にする前にCDの再生を止めてください。
- ・ SCSI PCカードを使用している場合、接続されている機器によって は正しくスタンバイ状態から復帰できない場合があります。このような場合は、スタンパイ状態にしないでください。
- スタンバイ状態からの復帰を行った場合、ディスプレイに何も表示 されない状態になることがあります。この場合は、マウスを動かす かキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表 示されます。

・スタンバイ状態から復帰させた場合、USB接続機器(キーボード、マウス、プリンタ等)が動作しないことがあります。この場合は一度USB機器を抜き差ししてください。また、印刷中にプリンタが停止し、「印刷キュー」に印刷中のドキュメントが残っている場合は、すべてのドキュメントを一度キャンセルし、プリンタに接続しているUSBケーブルを抜き差ししてから再度印刷してください。 なお、ドキュメントのキャンセルには時間がかかる場合があります。

スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されな かったことを表しています。

- アプリケーションが動作しない
- スタンバイ状態にする前の内容を復元できない
- ・USB接続のマウスまたはキーボード、電源スイッチを押してもスタンバイ状態から復帰しない

このような状態になるアプリケーションを使用中には、スタンバイ機 能は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できな かったときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源 ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、BIOSセットアップ メニューの内容が、工場出荷時の状態に戻っていることがあります。必 要な場合は、再設定してください。

休止状態/休止状態からの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を長時間中断する場合は、休止状態にすることによって電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチによって 休止状態にするには、「電源オプション」の設定を変更する必要がありま す。

参照 / 電源オプション」の設定の変更 Windows 2000のヘルプ

休止状態にする

電源が入っている状態から手動で休止状態にするには、次の方法があり ます。 「スタート」ボタンによる方法

- 1 「スタート」ボタン 「シャットダウン」をクリック
- 2 「休止状態」を選択して「OK」ボタンをクリック 作業状態をハードディスクドライブに保存し、本機の電源が切れ、休止状態になります。

電源スイッチによる方法

1 電源スイッチを押す 作業状態をハードディスクドライブに保存し、本機の電源が切れ、休止状態になります。

⚠注意

電源スイッチを押して休止状態にする場合は、電源スイッチを4秒以 上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的 に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

休止状態から復帰する

休止状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、次の手順が あります。

1 電源スイッチを押す

Windows 2000が起動し、前回休止状態機能を使用して電源を切ったときと同じ状態に復元されます。

休止状態機能を使用するときの注意

休止状態機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと休止状態にするときのデータが失われたり、元通 りに復帰できないこともあります。

休止状態からの復帰が保証されないとき 休止状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または休止状 態からの復帰中に次のようなことを行うと、休止状態にするときの作 業中のデータは保証されません。

- CD-ROMを取り出したり、交換したとき
- ・ PCカードの抜き差しをするなど、本機の環境や構成を変更したとき
- ・周辺機器の構成を変更(取り付け/取り外し)したとき

また、次のような状態で休止状態にすると、作業中のデータは保証され ません。

- ・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- 休止状態機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- 休止状態機能に対応していない周辺機器や拡張ボードを使用中の とき
- ・ Windows 2000の起動処理中、終了処理中のとき
- 通信用ソフトウェアでLANなどを使ってネットワークに接続して いるとき

その他の注意

- ・通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを 終了させてから休止状態にしてください。通信状態のまま休止状態 にすると、回線が接続されたままになり、電話料金が加算される場 合があります。
- CD-ROM ドライブにフォトCDが入っているときに休止状態にした 場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。
- 休止状態からの復帰を行った場合、ディスプレイに何も表示されない状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- ・ SCSI PCカードを使用している場合、接続されている機器によって は正しく休止状態から復帰できない場合があります。このような場 合は、休止状態にしないでください。
- ・休止状態から復帰させた場合、USB接続機器(キーボード、マウス、 プリンタ等)が動作しないことがあります。この場合は一度USB機器を抜き差ししてください。また、印刷中にプリンタが停止し、「印刷 キュー」に印刷中のドキュメントが残っている場合は、すべてのド キュメントを一度キャンセルし、プリンタに接続しているUSBケー プルを抜き差ししてから再度印刷してください。

なお、ドキュメントのキャンセルには時間がかかる場合があります。

休止状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、休止状態からの復帰が正しく実行されなかった ことを表しています。

- アプリケーションが動作しない
- 休止状態にする前の内容に復帰できない
- ・電源スイッチを押しても休止状態から復帰できない

このような状態になるアプリケーションを使用中には、休止状態機能 は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できなかっ たときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源ラン プが消え、電源が強制的に切れます。

この場合、BIOSセットアップメニューの内容が工場出荷時の状態に 戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

電源の自動操作

タイマ(「電源オプション」、Timer-NX)、LAN、回線からのアクセス(リ モートパワーオン機能)によって、自動的に電源の操作を行うことができ ます。

◆チェック // タイマ、LANの自動操作によるスタンバイ状態からの復帰を行った場合、本体はスタンパイから復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合、マウスを動かすかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが表示されます。

「電源オプション」

「コントロールパネル」「電源オプション」の「システムスタンパイ」を 設定しておくと、設定した時間を経過しても、マウスやキーボードから の入力およびハードディスクドライブへのアクセスなどがない場合、自 動的にディスプレイの電源を切ったり、スタンパイ状態にすることがで きます。

また、「コントロールパネル」「電源オプション」の「システム休止状態」 を設定しておくと、設定した時間を経過しても、マウスやキーボードから の入力およびハードディスクドライブへのアクセスなどがない場合、自 動的に休止状態にすることができます。工場出荷時は、約20分でディスプ レイの電源を、約30分でハードディスクドライブの電源を切るように設 定されています。

参照/「電源オプション」の設定の変更 Windows 2000のヘルプ

Timer-NX

「Timer-NX」のタイマ機能およびオフタイマ機能を使って、指定した時刻 に電源を切る、またはスタンバイ状態/休止状態から復帰することができ ます。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加 (Windows 2000 Professional)」Timer-NX ↓Timer-NXのヘルプ

リモートパワーオン機能(LANによる電源の自動操作)

LAN(ローカルエリアネットワーク)経由で、離れたところにあるパソコンの電源を操作する機能です。

- 参照 ・「セキュリティ/マネジメント機能」マネジメント機能」リモートパワー オン機能 Remote Power On機能)(P.105)
 - ・「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード」リモートパワーオン機能の 設定(Windows 2000の場合)(P.95)

キーボード

ここでは、さまざまなキーボード、日本語入力、キーボードの使用上の注 意について説明します。

参照 キーボード Windowsのヘルプ

添付されるキーボードの種類

本機に添付されるキーボードには、接続するインタフェース、キー配列、 収納方法などの違いにより、次の種類のキーボードがあります。

+	ーボードの種類・名称	インタフェース	キー配列	収納方法
PS/ 2 接 続	PS/2 109キーボード		109配列	横置き
のキーボード	テンキー付きPS/2小型キーボード	P5/2	109準拠	縦置き
USB接続の	USB109キーボード		109配列	横置き
キーボード	テンキー付きUSB小型キーボード	0.58	109準拠	縦置き

収納方法

本機に添付されるキーボードには、キーボードを使わないときの収納方 法として、縦置き収納型と横置き収納型の2つがあります。

縦置き収納型

横置き収納型





縦置き収納型は、キーボードを使わないときに、キーボードを縦置きにす ることができるタイプ(スタンドタイプ)で、机上のスペースを広くする ことができます。横置き収納型は、キーボードを使わないときも、横置き のままのタイプです。

使用上の注意

Nキーロールオーバ

Nキーロールオーバとは、複数のキーを同時に押した場合に、最後に入力 したキーが有効になる機能です。ただし、本機のキーボードは、疑似Nキー ロールオーバのため、複数のキーを同時に押した場合には、正常に表示さ れないことや、有効にならないことがあります。

USB接続のキーボードの抜き差し

電源が入った状態でUSB接続のキーボードの抜き差しをする場合、USB 接続のキーボードが取り外されたことや取り付けられたことを、本体が 認識するためには数秒~10秒程度必要です。瞬間的な抜き差しを繰り返 すとキーボード入力ができなくなることがあります。 キーボード入力ができなくなってしまった場合は、USB接続のキーボー ドを正しく接続した後に、電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電 源を切り、Windowsを再起動してください。

PS/2 109**キーボード**、USB109**キーボード**

キーの名称

キーボード上には、文字を入力するキーの他に、ソフトウェアの操作に使 う特殊なキーがあります。これらのキーの機能は使用するソフトウェア によって異なります。



テンキー

dowsによって機能を割り 当てることができます。





キーをロックする

【Caps Lock 【Num Lock 】Scroll Lock 】は、ロックされているときと、 ロックされていないときでキーの機能が異なります。 それぞれのキーがロックされているときはキーボード上部のランプが点 灯します。

	ロックされているとき	ロックされていないとき
	英字が大文字で入力され	英字が小文字で入力され
LCaps Lock]	ます。	ます。
	キー前面に表示されてい	キー上面の文字が入力さ
【Num Lock】	る数字や記号が入力され	れます。
	ます。	
[Scroll Lock]	アプリケーションによって機能が異なります。	

1

テンキー付きPS/2小型キーボード、テンキー付きUSB小型キーボード

キーの名称

キーボード上には、文字を入力するキーの他に、ソフトウェアの操作に使 う特殊なキーがあります。これらのキーの機能は使用するソフトウェア によって異なります。







キーをロックする

キーのロックについては、「キーをロックする (P.67)をご覧ください。

漢字やひらがななどの日本語を入力するには、日本語入力プログラムを 使います。本機では各モデルごとに以下の日本語入力プログラムが使用 できます。

Windows XPおよびWindows XP Homeの場合

日本語入力 プログラム	アプリケーション レスモデル	Office XP Personalモデル および Office XP Professionalモデル
MS-IME2002		

: インストールされており、工場出荷時に標準で使用する設定になっている日本語入力プログラム

Windows 2000の場合

日本語入力 プログラム	アプリケーション レスモデル	Office XP Personalモデル および Office XP Professionalモデル
MS-IME2000		
MS-IME2002		

- :インストールされており、工場出荷時に標準で使用する設定になっている日本語入力プログラム
- : インストールされている日本語入力プログラム

日本語入力のオン/オフ

日本語入力のオン/オフを切り替えるには次の方法があります。

- ・キーボードの【半角/全角/漢字】を押す
- タスクパーの右下の / をクリックし、表示されるメニューから選択 する

✓ チェック // MS-IME2002をお使いの場合、 // は表示されません。

日本語変換の手順

日本語の変換にはさまざまな方法があります。詳しくは、MS-IMEのヘル プをご覧ください。

メモ

日本語変換のヘルプを表示するには、ツールバーのヘルプアイコンをク リックしてください。

USB 接続のキーボードの使用上の注意

USB接続のキーボード(USB 109キーボード、テンキー付きUSB小型キー ボード)の裏面には、USB1.1対応の機器を接続するためのハブが装備さ れています。1つは標準添付のスクロールボタン付きマウスを接続してく ださい。ハブを2つ装備しているキーボードの残りの1つには別売のUSB 機器を接続できますが、次の制限があります。



電源容量による接続の制限

・USB接続のキーボードのUSBハブは、USBバスパワードハブと呼ばれるハブで、電源が接続先から供給されて動作するハブです。 USB機器には、接続先に要求する電源の容量によって、「ハイパワーデバイス」と「ローパワーデバイス」の2種類に分類されます。USB接続のキーボードに接続できるUSB機器は、ローパワーデバイス」のものに限られます。 メモ ハイパワーデバイス、ローパワーデバイス

ハイパワーデバイス:接続先に500mA以下の電源を要求するUSB機器。 ローパワーデバイス:接続先に100mA以下の電源を要求するUSB機器。

- ・ USBの仕様では、USB機器は最大5段まで縦列接続が可能ですが、実際 のシステム運用上では2段までの縦列接続でご使用になってください。
- ・本ハブにUSB2.0対応機器を接続すると、USB転送速度が最大12Mbps に制限されます。


マウスについて

本機に添付されるマウスは、スクロールボタン付きマウスです。



マウスのクリックとは、マウスのボタンを押して離す操作です。特に指定がない場合は左ボタンを使います。

スクロールボタン付きマウスのスクロールボタンの使い方

通常はスクロールボタンを上に押し続けたり、手前へ引き続けることで 上下にスクロールします。 また、スクロールボタンをクリックしたり、押し続けたときにスクロール アイコンが表示されます。その場合は、三角マークの方向にマウスを動か

すと画面を上下にスクロールさせることができます。スクロールボタン を再度クリックしたり、指を離すとスクロールアイコンが消えます。

ディスプレイ

本機には、ウィンドウアクセラレータ機能が標準で搭載されています。お 使いの用途に応じた解像度や表示色に切り換えて使用できます。

参照 ディスプレイ Windowsのヘルプ

使用上の注意

リフレッシュレート(垂直走査周波数)の設定値はセットアップが完了し たときに、最も適した値に自動的に設定されます。通常ご使用になるとき は設定を変更しないでください。機種によってはリフレッシュレート(垂 直走査周波数)の設定を「画面のプロパティ」で変更できる場合がありま すが、ディスプレイがサポートしていないリフレッシュレートを設定す ると画面が乱れることがあります。

表示能力

解像度 [ドット]	表示色	水平走査 周波数 [KHz]	垂直走査 周波数 [Hz]	本体の 液晶 ディスプレイ
640×480 1	256色 1			
	65,536色	31.5	60	
	1,677万色			
800×600	256色 1			
	65,536色	37.9	60	
	1,677万色			
1,024×768	256色 1			
	65,536色	48.4	60	
	1,677万色			
1,280×1,024 2	256色 1			
	65,536色	64.0	60	
	1,677万色			

本機では、表示する解像度と表示色は、以下の水平走査周波数・垂直走査 周波数で表示可能となります。

1 Windows XPでは640×480および256色の表示には設定の変更が必要

2 MA10W/FEのみ表示可能

ディスプレイの省電力機能

本機は、VESA(Video Electronics Standards Association)で定義され ているディスプレイの省電力モード(DPMS:Display Management System)に対応しています。 工場出荷時の設定は、マウスやキーボードからの入力がない状態が続く

と、約20分でディスプレイの電源を省電力モードにするように設定されています。

参照 ディスプレイの省電力機能 Windowsのヘルプ



ハードディスクドライブは、プログラムやデータを保存する非常に精密 な装置です。振動や衝撃などが加わらないよう、取り扱いにご注意くださ い。コンピュータの使用中に、ハードディスクドライブで障害が発生する こともありますが、軽い障害であればエラーチェックプログラムを使っ て修復できる場合があります。また、大切なデータを保護するため、定期 的にデータのバックアップをとるようおすすめします。

使用上の注意

⚠ 注 意

ハードディスクドライブは、たいへん精密な機械です。次のことに注意してください。

温度、湿度条件を守ってください。 温度10 ~35 、湿度20%~80%(ただし結露しないこと) ゴミやホコリの多い場所での使用、保管は避けてください。 電源が入っているときは、本体に衝撃を加えたり、持ち運んだりしないでください。 電源を切るときは、Windowsの「スタート」ボタンから電源を切ってください。正常な 終了手順に従わずに電源を切ると、ディスク上のデータがこわれてしまうことがあります。 電源を切って本体を運ぶときでも、できるだけ慎重に扱ってください。

バックアップはこまめにとる

本機に内蔵されているハードディスクドライブは、非常に精密に作られ ています。毎分数千回転するディスク面と情報を読み取る磁気ヘッドの 間は、わずかしか空いていません。このため、データを読み書きしている ことを示すハードディスクアクセスランプの点灯中には、少しの衝撃を 与えても故障の原因となることがあります。

また、温度、湿度条件を守れない環境での使用が続いた場合は、ハード ディスクドライブ内部で使用している部品から極微量なガスが発生しま す。このガスは、磁気ヘッドに付着したり、二次的にマイクロダストを発 生し、磁気ヘッドの姿勢を乱すなど故障の原因となることがあります。 ハードディスクドライブが故障すると、大切なデータが一瞬にして使え なくなってしまい、復帰できない可能性があります。二度と同じものを作 れないような大切なデータは、バックアップをこまめにとることをおす すめします。本機にはハードディスクドライブをバックアップするアプ リケーション「Masty Data Backup」が添付されています。また、増設ハー ドディスクドライブ(StandbyDiskあり)を搭載したモデルでは、 StandbyDiskによるハードディスクドライブのバックアップおよび障害 時の復元が行えます。 参照

『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「Masty Data Backup」「StandbyDisk」Windowsのヘルプ

アプリケーションで作成したデータは、アプリケーションによっては自動的に保存場所が決められている場合がありますので、バックアップをとる場合はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

不良セクタ、スキップセクタ

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記 録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所ができることがあり ます。これを「不良セクタ」またば「スキップセクタ」といいます。パソコ ンは、このような場所にはデータを記録しないようにしています。

ハードディスクに対して、Windowsの「チェックディスク」などを実行す ると、「不良セクタ」または「スキップセクタ」と表示されることがありま すが、これは、不良セクタ、スキップセクタを使わないように予防されて いたことを表しており、異常ではありません。なお、「不良セクタ」または 「スキップセクタ」が表示された場合でも、「全ディスク領域」または「全 ディスク容量」のバイト数が次の表の値であれば不良ではありませんの で、正常にお使いいただけます。

内蔵ハードディスク	正常値
20Gバイト	20,000,000,000バイト以上
40Gバイト	40,000,000,000バイト以上

表の正常値は、領域を分割しない場合の値です。

メモ

ハードディスクの記憶容量は、1M/7h = 1,000,000/7h + 1G/7h = 1,000,000,000/7h + 000,000/7h + 00

ハードディスクドライブの動作音について

ハードディスクドライブの動作中、本体から小さな音がする場合があり ますが、異常ではありません。 ドライブ番号の割り当て(Windows XPおよびWindows XP Homeの場合)

ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブには、それぞれ 呼び名が割り当てられています。これを「ドライブ番号」またば「ドライブ 文字」といいます。 工場出荷時に割り当てられているドライブ番号は次の通りです。 なお、領域を変更する場合は、システム管理者など、ディスクの管理に詳 しいユーザの元で行ってください。

 チェック!? 「ディスクの管理」ではドライブ番号の割り当てられていない領域が存在しますが、不用意に削除しないでください。これは再セットアップする場合に必要な「再セットアップ領域」であるため、ドライブ番号を割り当てていません。この領域の削除方法については、『活用ガイド 再セットアップ編』 PART2 付録」をご覧ください。

参照 ディスクの管理 Windowsのヘルプ

ドライブ番号	ドライブの種類
Cドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第1パーティション、10GB、NTFS)
	ハードディスクドライブ
Dドライブ 1	(プライマリマスタ、第2パーティション、残りすべての
	領域、NTFS)
Eドライブ 1 2	CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブまたはCD-
	R/RW with DVD-ROMドライブ(セカンダリマスタ)

- 1 増設ハードディスクドライブ(VersaBay IV)の取り外し/取り付け によってドライブ番号が変わることがあります。
- 2 CD レスモデルの場合は割り当てられていません。

ドライブ番号の割り当て(Windows 2000の場合)

ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブには、それぞれ 呼び名が割り当てられています。これを「ドライブ番号」またば「ドライブ 文字」といいます。

工場出荷時に割り当てられているドライブ番号は次の通りです。

なお、領域を変更する場合は、システム管理者など、ディスクの管理に詳 しいユーザの元で行ってください。 チェック!! 「ディスクの管理」ではドライブ番号の割り当てられていない領域が存在しますが、不用意に削除しないでください。これは再セットアップする場合に必要な「再セットアップ領域」であるため、ドライブ番号を割り当てていません。この領域の削除方法については、『活用ガイド 再セットアップ編』 PART2 付録」をご覧ください。

参照 ディスクの管理 Windowsのヘルプ

ドライブ番号	ドライブの種類
	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第1パーティション、4GB、FAT32)
	ハードディスクドライブ
Dドライブ 1	(プライマリマスタ、第2パーティション、残りすべての
	領域、NTFS)
Eドライブ 1 2	CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブまたはCD-
	R/RW with DVD-ROMドライブ(セカンダリマスタ)

1 増設ハードディスクドライブ(VersaBay IV)の取り外し/取り付け によってドライブ番号が変わることがあります。

2 CD レスモデルの場合は割り当てられていません。

エラーチェックの操作手順

Windows XPおよびWindows XP Homeの場合

- 1 「スタート」ボタン 「マイコンピュータ」をクリック
- 2 エラーチェックするハードディスクのアイコンをクリック
- 3 「ファイル」「プロパティ」をクリック
- 4 「ツール」タブをクリック
- 5 「チェックする」ボタンをクリック

6 「チェックディスクオプション」を選択する

メモ

「ファイルシステムエラーチェックを自動的に修復する」にチェックを付けると、ディスクチェック中に発見したエラーを自動的に修復します。 「不良セクタをスキャンし、回復する」にチェックを付けると、ディスクの 表面検査を行い、不良セクタを検出したときは使用しないようにします。

7 「開始」ボタンをクリック

◆チェック / 定期的にエラーチェックを起動して、ハードディスク上にエラーがないこと
 を確認してください。

Windows 2000の場合

- **1** デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリック
- 2 エラーチェックするハードディスクのアイコンをクリック
- 3 「ファイル」「プロパティ」をクリック
- 4 「ツール」タブをクリック
- 5 「チェックする」ボタンをクリック
- 6 「チェックディスクのオプション」を選択する
- メモ

「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」にチェックを付けると、 ディスクチェック中に発見したエラーを自動的に修復します。「不良なセ クタをスキャンし、回復する」にチェックを付けると、ディスクの表面検 査を行い、不良セクタを検出したときは使用しないようにします。

7 「開始」ボタンをクリック

♥チェック?/ 定期的にエラーチェックを起動して、ハードディスク上にエラーがないことを確認してください。

CD-ROM**ドライブ**

CD-ROMはデータやプログラムが書き込まれているCDです。本機では 音楽用のCDを再生することもできます。なお、CDにラベルを貼ったり、 信号面(文字などが印刷されていない面)に傷を付けないようにしてくだ さい。なお、CD-ROMドライブはVersaBay IVに対応しているので、別売 のVersaBay IV対応機器と交換可能です。

⚠警告

CD-ROM、CD-R、CD-RWは、対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでください。大音 量によって耳に障害を被ったりスピーカを破損したりする原因となります。またCD-R、 CD-RWがこわれて書き込むことができなくなる場合があります。

再生できるCDの種類

本機に標準で内蔵されているCD-ROMドライプでは、ISO9660に準拠したCD、または下記の表中のCDを再生・表示することができます。CD TEXTのテキストデータ部は、読み出せません。

- チェック? ・コピーコントロールCDなどの一部の音楽CDは、現在のCompact Disc の規格外の音楽CDです。規格外の音楽CDについては、音楽の再生や音楽 CDの作成ができないことがあります。
 - 本機で音楽CDを使用する場合、ディスクレーベル面にCompact Discの 規格準拠を示す(CD ロゴ アークの入ったディスクを使用してください。
 - CD(Compact Disc) 規格外ディスクを使用すると、正常に再生ができな かったり、音質が低下したりすることがあります。

CD**のサイズ**

CDのサイズ		
8センチ	12センチ	

CD**の規格**

規格	概 要
CD-DA(CD-Digital Audio)	一般の音楽CD。プログラム用のCD-ROMでは
	音楽トラックの部分のこと
CD-ROM(CD-Read Only Memory)	パソコンで利用するための情報が入ったCD
CD-ROM XA	CD-Iで提案されたマルチメディアシステムを、
(CD-ROM eXtended Architecture)	既存のパーソナルコンピュータでも実現できる
	ようにした規格
CD Extra(CD PLUS)	一般の音楽CDに文字や画像などを記録できる
	ようにした規格
Photo CD マルチセッション	写真を最大100枚まで記録できる追記型のCD
CD-R(CD-Recordable)	書き込みができるCD。マルチセッション対応の
	場合は、複数回に分けての書き込みも可能
CD-RW(CD-ReWritable)	書き込み/書き換えができるCD

CD-ROM ドライブ使用上の注意

CD-ROM ドライブ内のレンズには触れないでください。指紋などの汚れ によって、データが正しく読み取れなくなるおそれがあります。

非常時のディスクの取り出し

停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクトレイイジェクト ボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、次の手順で強制 的に取り出すことができます。

▼チェック // 本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。

1 細くて丈夫な針金を用意する

ペーパークリップを伸ばしたものが使えます。



2 非常時ディスク取り出し穴(直径約1.5mm)に針金を差し込み、 強く押す

ディスクトレイが15mmほど飛び出します。



3 ディスクトレイを手で引き出し、ディスクを取り出す



4 ディスクトレイをドライブの中に押し込む



CD-R/RW**ドライブ**

CD-R/RW(Compact Disc Recordable/Compact Disc ReWritable) ドライブが標準で搭載されているモデルでは、CD-ROMドライブの機能 に加えてCD-RおよびCD-RWへ大量のデータやプログラムを記録する ことができます。なお、CDにラベルを貼ったり、信号面(文字などが印刷 されていない面)に傷を付けないようにしてください。なお、CD-R/RW ドライブはVersaBay IVに対応しているので、別売のVersaBay IV対応 機器と交換可能です。

⚠警告

CD-ROM、CD-R、CD-RWは、対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでください。 大音量によって耳に障害を被ったりスピーカがこわれたりする原因となります。また、CD-R、CD-RWがこわれて書き込むことができなくなる場合があります。

再生できるCDの種類

本機に標準で内蔵されているCD-R/RWドライブでは、ISO9660に準拠したCDを再生・表示することができます。CD TEXTのテキストデータ部は、読み出せません。再生できるCDについては、「CD-ROMドライブ」「再生できるCDの種類(P.84)をご覧ください。

CD-RおよびCD-RWへの書き込みおよびCD-RWのフォーマット

本機に内蔵されているCD-R/RWドライブは、CD-ROMドライブの機能に 加えて、CD-Rへの書き込み機能とCD-RWへの書き換え機能を加えたもの です。

使用できるディスク

CD-RおよびCD-RWについては、Orange Book Part2(CD-R)およびPart3 (CD-RW)に準拠したディスクをご利用ください。また、本機ではOrange Book Part3 Volume2に準拠したHigh-Speed CD-RWディスクへの書 き込み/書き換えおよびフォーマット(4倍速/8倍速/10倍速に対応)もで きます。また、本機では記憶容量650MBおよび700MBのCD-RおよびCD-RWが利用できます。

書き込みできる容量は、使用するソフトウェアによって異なります。詳し くは、『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/ 追加」の「RecordNow DX」または、DLA」をご覧ください。 使用するソフトウェア

本機のCD-R/RW ドライブを使って、CD-Rへの書き込み、CD-RWへの フォーマット/書き換えをするには、「RecordNow DX」または「DLA」が 必要です。使用方法については『活用ガイド ソフトウェア編』アプリ ケーションの概要と削除/追加 の Record Now DX またば DLA をご 覧ください。

- S チェック// ・書き込みに失敗したCD-Rは再生できなくなります。書き損じによるCD-Rの補償はできませんのでご注意ください。
 - ・ データの書き込みを行った後に、データが正しく書き込まれているかどう か確認してください。
 - ・ 作成したメディアのフォーマット形式や装置の種類などにより、他のCD-ROM ドライブ、CD-R ドライブ、CD-R/RW ドライブでは使用できない場 合がありますのでご注意ください。
 - ・お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCDなどの複製や改変を 行う場合、オリジナルのCD等について著作権を保有していなかったり、著 作権者から複製・改変の許諾を得ていない場合は、著作権法または利用許 諾条件に違反することがあります。複製等の際は、オリジナルのCD-ROM などの利用許諾条件や複製等に関する注意事項に従ってください。
 - ・ コピーコントロールCDなどでは音楽CDを作成できない場合があります。

CD-R/RW ドライブ使用上の注意

CD-R/RW ドライブ内のレンズには触れないでください。指紋などの汚れ によって、データが正しく読み取れなくなるおそれがあります。

非常時のディスクの取り出し

停雷やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクトレイイジェクト ボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、強制的に取り出 すことができます。

非常時のディスクの取り出し手順については、「CD-ROMドライブ」非 常時のディスクの取り出し(P.83)をご覧ください。

CD-R/RW with DVD-ROM**ドライブ**

CD-R/RW with DVD-ROMドライブが標準で搭載されているモデルで は、CD-R/RWドライブの機能に加えて、DVD(Digital Versatile Disc) に記録された音楽や動画映像を再生することもできます。なお、CDや DVDにラベルを貼ったり、信号面、文字などが印刷されていない面)に傷 を付けないようにしてください。なお、CD-R/RW with DVD-ROMドラ イブはVersaBay IVに対応しているので、別売のVersaBay IV対応機器 と交換可能です。

⚠警告

CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-ROM、DVD-Rは、対応プレーヤ以外では絶対に 使用しないでください。大音量によって耳に障害を被ったりスピーカがこわれたり する原因となります。また、ディスクがこわれて書き込むことができなくなる場合 があります。

再生できるCDおよびDVDの種類

本機に標準で内蔵されているCD-R/RW with DVD-ROMドライブでは、 ISO9660に準拠したCDおよびDVDを再生・表示することができます。な お、再生できるCDについては「CD-ROMドライブ」「再生できるCDの種 類(P.81)をご覧ください。本機のCD-R/RW with DVD-ROMドライブ を使ってDVDを再生するには、「WinDVD 4」をご利用ください。使用方 法については、『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要 と削除/追加」の「WinDVD 4」をご覧ください。

- - ・ CD TEXTのテキストデータ部は、読み出せません。
 - ・本機では、日本国内向け(リージョン2)および地域制限なし(リージョン0 (ゼロ))以外のリージョンコードのDVDは再生できません。

DVD**のサイズ**

DVDのサイズ			
8センチ	12センチ		

DVD**の容量**

DVDの容量			
DVD-5	DVD-9	DVD-10	DVD-18
片面一層	片面二層	両面一層	両面二層
(4.7GB)	(8.5GB)	(9.4GB)	(17GB)

DVD**の規格**

規格	概要
DVD-ROM(DVD-Read	パソコンで利用するための情報が入った
Only Memory)	DVD
DVD-Video	MPEG2という圧縮方式を用いて記録され
	た動画用のDVD-ROM
DVD-Audio	音楽用のDVD-ROM。CD-DAよりも広いレ
	ンジで音声が収録されています。
DVD-R	書き込みができるDVD
(DVD-Recordable)	
DVD-RW(DVD-ReWritable)	書き込み/書き換えができるDVD

専用のドライブとライティングソフトウェアがなければ書き込みはで きません。

CD-RおよびCD-RWへの書き込みおよびCD-RWのフォーマット

本機に内蔵されているCD-R/RW with DVD-ROMドライブは、CD-R/ RWドライブの機能に加えてDVD-ROMの再生機能を加えたものです。使 用できるCD-R、CD-RWおよびソフトウェアについては、「CD-R/RWドラ イブ」「CD-RおよびCD-RWへの書き込みおよびCD-RWのフォーマット」 (P.84)をご覧ください。また、本機ではOrange Book Part3 Volume2に 準拠したHigh-Speed CD-RWディスクへの書き込み/書き換えおよび フォーマット(4倍速/8倍速/10倍速に対応)もできます。また、本機では 記憶容量650MBおよび700MBのCD-RおよびCD-RWが利用できます。な お、コピーコントロールCDなどでは音楽CDを作成できない場合があり ます。

CD-R/RW with DVD-ROM ドライブ使用上の注意

CD-R/RW with DVD-ROM ドライブ内のレンズには触れないでくださ い。指紋などの汚れによって、データが正しく読み取れなくなるおそれが あります。

非常時のディスクの取り出し

停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクトレイイジェクト ボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、強制的に取り出 すことができます。

非常時のディスクの取り出し手順については、「CD-ROMドライブ」非 常時のディスクの取り出し(P.82)をご覧ください。

サウンド機能

本機には音声を録音、再生するためのサウンド機能が内蔵されています。 音声は内蔵スピーカまたは外部のオーディオ機器から再生することがで きます。

参照 / ボリュームコントロールのヘルプ

音量の調節

音量の調節には内蔵スピーカボリュームまたば ボリュームコントロー ル」による方法があります。どちらかの方法で音量が最小になっている と、音が出ないので注意してください。

 ジチェック // メニューバーの「オプション」「トーン調整」を選択すると「トーン」ボタンが ボリュームコントロール画面に追加表示され、それをクリックするとトーン 調整画面で調整が行えます。

LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード

LANボードが標準で内蔵されているモデルでは、LAN(ローカルエリア ネットワーク)に接続することにより、離れた所にあるコンピュータ同士 で、データやプログラムなどを共有したり、メッセージを送受信すること ができます。ここではLANへの接続手順を簡単に説明します。

LAN(ローカルエリアネットワーク)への接続

接続前の確認

LANボードが標準で内蔵されているモデルでは、100BASE-TXまたは 10BASE-Tに対応したLANに接続することができます。本機をネット ワークに接続するには、別売のマルチポートリピータ(ハブ)と、別売の専 用ケーブル(リンクケーブル)が必要です。100BASE-TXで使用するため には、カテゴリ5のリンクケーブルが必要です。

参照 PART4 付録 【機能一覧 (P.157)

接続方法

リンクケーブルの接続方法については『はじめにお読みください』をご覧 ください。



- ック ック ・ 本機を稼働中のLANに接続するには、システム管理者またはネットワーク 管理者の指示に従って、リンクケーブルの接続を行ってください。
 - ・ 搭載されているLANボードは、接続先の機器との通信速度(100Mbps/ 10Mbps)を自動検出して最適な通信モードで接続するオートネゴシエー ション機能をサポートしています。なお、セットアップが完了したときに、 オートネゴシエーション機能は有効に設定されています。接続先の機器が オートネゴシエーション機能をサポートしていない場合は、「ネットワー クのプロパティ」で通信モードを接続先の機器の設定に合わせるか、接続 先の機器の通信モードを半二重(Half Duplex)に設定してください。

LANの設定(Windows XPおよびWindows XP Homeの場合)

ここでは、LANに接続するために必要なネットワークのセットアップ方法を簡単に説明します。必要な構成要素の詳細については、Windowsの ヘルプの中にあるネットワーク関連の項目をご覧ください。

ネットワークソフトウェアをセットアップする

- ✓ チェック? 工場出荷時は、ネットワークプロトコル(TCP/IP)が設定されています。
 - **1** 「スタート」ボタン 「マイコンピュータ」をクリック
 - 2 「その他」の「マイ ネットワーク」をクリック
 - 3 「ネットワークタスク」の「ネットワーク接続を表示する」をクリック
 - 4 「ローカル エリア接続」をクリック
 - 5 「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリック ここで「サービス」、「プロトコル」、「クライアント」をセットアップ できます。必要な構成要素を追加してください。

×Ε

必要な構成要素がわからない場合は、システム管理者またはネットワー クの管理者に相談してください。

- 6 「スタート」ボタン 「マイコンピュータ」をクリック
- 7 「システムのタスク」の「システム情報を表示する」をクリック
- 8 「コンピュータ名」タブをクリック
- 9 「変更」ボタンをクリック

10 「コンピュータ名の変更」の画面が表示されたら、「コンピュータ 名」、「ワークグループ」または「ドメイン(Windows XPの場 合)に必要な情報を入力する

メモ

コンピュータ名などがわからない場合は、システム管理者またはネット ワークの管理者に相談してください。

- **11** 「OK」ボタンをクリック
- 12 再起動を促すメッセージが表示された場合はコンピュータを 再起動する

以上で完了です。

LANの設定(Windows 2000の場合)

ここでは、LANに接続するために必要なネットワークのセットアップ方 法を簡単に説明します。必要な構成要素の詳細については、Windows 2000のヘルプの中にあるオンライン形式の『Microsoft Windows 2000 Professionalファーストステップガイド』のネットワーク関連の項目を ご覧ください。

ネットワークソフトウェアをセットアップする

✓ チェック? 工場出荷時は、ネットワークプロトコル(TCP/IP)が設定されています。

- 1 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル をクリック
- 2 「ネットワークとダイアルアップ接続」をダブルクリック
- 3 「ローカルエリア接続」をクリック
- 4 「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリック ここで「サービス」、「プロトコル」、「クライアント」をセットアップ できます。必要な構成要素を追加してください。

メモ

必要な構成要素がわからない場合は、システムの管理者またはネット ワークの管理者に相談してください。

- 5 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 6 「システム」をダブルクリック
- 7 「ネットワークID」タブをクリック
- 8 「プロパティ」ボタンをクリック
- 9 「コンピュータ名」、「ワークグループ」またばドメイン」に、必要な情報を入力する

メモ

コンピュータ名などがわからない場合は、システム管理者またはネット ワークの管理者に相談してください。

- **10** 入力を終えたら「OK」ボタンをクリック
- 11 再起動を促すメッセージが表示された場合はコンピュータを 再起動する

以上で完了です。

リモートパワーオン機能の設定(Windows XPおよびWindows XP Homeの場合)

本機におけるLANによるリモートパワーオン機能については次の表の通 りです。また、別途モジュールが必要になる場合がありますので、「セキュ リティ/マネジメント機能」の「マネジメント機能(P.105)をご覧くださ い。

	電源が切れている状態から電源を入れる	×
リモートパワーオン	スタンバイ状態から復帰する	
	休止状態から復帰する	

◆チェック!? 前回のシステム終了(スタンバイ状態にする、休止状態にする)が正常に行われなかった場合、リモートパワーオンを行うことはできません。一度電源スイッチを押してWindowsを起動させ、再度、正常な方法でシステム終了を行ってください。

スタンバイ状態および休止状態からのリモートパワーオン機能を利用す るには、以下の設定を行ってください。なお、設定の際は管理者 (Administrator権限を持ったユーザ)が行ってください。

- **1** 「スタート」ボタン 「マイコンピュータ」をクリック
- 2 「その他」の「マイ ネットワーク」をクリック
- 3 「ネットワークタスク」の「ネットワーク接続を表示する」をク リック
- 4 「ローカル エリア接続」をクリック
- 5 「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリック
- 6 「構成」ボタンをクリック
- 7 「電源の管理」タブをクリック
- 8 次の3つの項目にチェックを付ける
 - 「電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオ フにできるようにする」
 - 「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できる ようにする」
 - 「管理ステーションでのみ、コンピュータのスタンパイ状態を解 除できるようにする」
- **9** 「OK」ボタンをクリック
- 10 「ネットワーク接続」を閉じる

以上で完了です。

本機におけるLANによるリモートパワーオン機能については次の表の通 りです。また、別途モジュールが必要になる場合がありますので、「セキュ リティ/マネジメント機能」の「マネジメント機能(P.105)をご覧くださ い。

	電源が切れている状態から電源を入れる	×
リモートパワーオン	スタンバイ状態から復帰する	
	休止状態から復帰する	

◆チェック!! 前回のシステム終了(スタンバイ状態にする、休止状態にする)が正常に行われなかった場合、リモートパワーオンを行うことはできません。一度電源スイッチを押してWindows 2000を起動させ、再度、正常な方法でシステム終了を行ってください。

スタンバイ状態および休止状態からのリモートパワーオン機能を利用す るには、以下の設定を行ってください。なお、設定の際はAdministrator権 限を持ったユーザが行ってください。

- ◆チェック? 本機能を利用するためには、Service Packがインストールされている必要 があります。Service Packを削除した場合は、本機能は利用できません。ま た、Service Packを再追加することはできませんので、『活用ガイド 再セッ トアップ編』をご覧になり、再セットアップを行ってください。
 - 1 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をク リック
 - 2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリック
 - **3** 「ローカルエリア接続」をクリック
 - 4 「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリック
 - 5 「構成」ボタンをクリック
 - 6 「電源の管理」タブをクリック

- 7 以下の2つのチェックボックスにチェックを入れる
 - ・「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻す ことができるようにする」
 - 「電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源を オフにできるようにする」
- 8 「詳細設定」タブをクリックし、以下の設定を行う
 - ・プロパティの Enable PME 」を選択し、値を No Action 」に設 定する
- **9**「OK」ボタンをクリック
- **10** 「OK」ボタンをクリック
- **11** 「ネットワークとダイヤルアップ接続」を閉じる 以上で完了です。

2.4GHz**ワイヤレス(無線)**LAN機能

2.4GHzワイヤレス(無線)_AN機能が内蔵されているモデルでは、ワイ ヤレス(無線)_ANによって、離れているコンピュータ同士で、データやプ ログラムなどを共有したり、メッセージを送受信することができます。こ こでは、2.4GHzワイヤレス(無線)_ANへの接続を簡単に説明します。

2.4GHz**ワイヤレス**LAN使用上の注意

- ・通信速度・通信距離は、ワイヤレスLAN対応機器や電波環境・障害物・設 置環境などの周囲条件によって異なります。
- ・電波の性質上、通信距離が離れるにしたがって通信速度が低下する傾向があります。より快適にお使いいただくために、ワイヤレスLAN対応機器同士は近い距離で使用することをおすすめします。
- ・電子レンジを使用中に、2.4GHzワイヤレスLAN対応機器の通信速度、
 通信距離が低下する場合があります。2.4GHzワイヤレスLAN対応機器
 と電子レンジは離して使用することをおすすめします。
- ・2.4GHzワイヤレスLAN対応機器とBluetooth™対応機器を同時に使用された場合、それぞれの機器の通信速度や通信距離が低下する場合があります。2.4GHzワイヤレスLAN対応機器とBluetooth™対応機器はいずれかをオフにするか、離して使用することをおすすめします。
- ・ 2.4GHzワイヤレスLAN機能を使用したネットワークへの接続には、別 売の2.4GHz無線LANアクセスポイントなどが必要です。
- 2.4GHzワイヤレスLANでは、暗号キーを設定することにより、無線区 間内での漏洩・傍受を防ぐことが可能です(将来、暗号解読技術の向上 により、暗号化では意図的な解読に対し十分に対応できない可能性が あります)。

2.4GHz**ワイヤレス**LAN**製品との接続**

本製品と接続できる製品は、以下の通りです(2002年10月現在)。

2.4GHz 無線LAN アクセスポイント

- ・ PK-WL002H**無線**LAN**アクセスポイント(**11Mbps)
- ・ PK-WL003**無線**LAN**アクセスポイント**N
- PK-WL005 無線LAN アクセスポイントE
- ・ PK-WL007**無線**LAN**アクセスポイント**S
- PC-WL20R1 Aterm WL20R
- PC-WB20R1 Aterm WB20R
- PC-WL30A1 Aterm WL30A
- PC-WL50T1 Aterm WL50T
- PC-WB50T1 Aterm WB50T
- PA-WB55TL1 Aterm WB55TL
- PA-WB45RL1 Aterm WB45RL
- PA-WB65DSL1 Aterm WB65DSL
- PA-WBR75H Aterm WBR75H

2.4GHz**ワイヤレス**LAN**周辺機器**

- ・ PK-WL001H**無線**LANカード(11Mbps)
- ・ PK-WL001**無線**LAN**カード(** 11Mbps)
- ・PK-WL004**無線**LANUSBボックス(11Mbps)
- ・PK-WL006無線LAN(11Mbps)カードE
- ・ PR-WL-11**無線**LAN プリンタボード
- ・ PR-WL-01 **無線**LAN プリンタアダプタ
- 2.4GHz**ワイヤレス**LAN**モデル**
- 2001年7月以降出荷のLaVie・VersaProの2.4GHzワイヤレスLANモデル
- ・2001年11月以降出荷のVALUESTARの2.4GHzワイヤレスLANモ デル

その他の製品については、NECの企業向けパソコン関連総合サイト 「NEC 8番街」をご覧ください。

http://nec8.com/

2.4GHz**ワイヤレス**LANの設定

ここでは、Windows XPまたはWindows XP Homeをご利用の場合、 2.4GHzワイヤレス(無線)LANを持った他のパソコンまたはアクセスポ イントに接続するために必要なセットアップ方法を簡単に説明します。 Windows 2000をご利用の場合、「無線LANユーティリティ」をインストー ルする必要があります。「Mate/Mate R電子マニュアル」の「「無線LAN ユーティリティ」について」をご覧ください。

- 1 「スタート」ボタン「すべてのプログラム」「アクセサリ」 「通信」「ネットワーク接続」をクリック
- **2**「ワイヤレスネットワーク接続(Wireless Endbedded card Model 0504)」を右クリックして、プロパティをクリック
- 3 「ワイヤレスネットワーク」タブをクリック
- チェック! アクセスポイントが利用できるネットワークの一覧に表示されない場合は、 ー度アクセスポイントの電源をオフにし、再度電源をオンにしてから「最新の 情報に更新」ボタンをクリックしてください。
 - **4** 「利用できるネットワーク」から接続する親機(またはパソコン) を選択し、「構成」ボタンをクリック
 - 5 セキュリティの設定を行う セキュリティの設定を行うことで、無線ネットワークの外部から の不正なアクセスを防止することができます。 セキュリティの設定を行わない場合は、このあと、手順8に進んで ください。 セキュリティの設定を行う場合、親機で暗号キーが設定されてい る場合は、「ネットワークキー」に暗号キーを入力してください。ま た、パソコン同士で接続する場合は、両方のパソコンで同じネット ワークキーを設定してください。
 - 6 パソコン同士で接続する場合は、「これはコンピュータ相互 (adhoc)のネットワークで、ワイヤレスアクセスポイントを使 用しない」にチェックを付ける レジデンシャルゲートウェイ、無線LANアクセスポイントとの接 続の際はこの手順は必要ありません。

- 7 「OK」ボタンをクリック 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の画面の「優先する ネットワーク」に選択した機器が追加されます。
- 8 「OK」ボタンをクリック しばらくすると、画面右下の通知領域に「ワイヤレスネットワーク 接続に接続しました」と表示されます。

9 接続を確認する

WARPSTAR(ベース)を使ってダイヤルアップ接続する

別売のダイヤルアップ機能を内蔵したWARPSTAR(ベース)を使用して インターネットへダイヤルアップ接続するには、WARPSTAR(ベース)に 添付されているCD-ROMから「WARPSTARらくらくアシスタント」をイ ンストールする必要があります。設定は以下の手順で行ってください。

- 1 WARPSTAR(ペース)に合わせて、2.4GHzワイヤレスLANの 設定を行う
- チェック?
 一覧を更新してもWARPSTAR(ペース)のネットワーク名が表示されない場合は、一度WARPSTAR(ペース)の電源をオフにし再びオンにした後で、WARPSTAR(ペース)前面ランプの点滅が終わるのを待ってから、再度「更新」ボタンをクリックしてください。
 - WARPSTAR(ベース)の出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX (XXXXXはWARPSTAR(ベース)の背面に記載されている 10BASE-TもしくはWAN/PCのMACアドレス下6桁)です。
 - 2 WARPSTAR(ベース)との接続を確認する
 - 3 WARPSTAR(ベース)に添付されているCD-ROMから 「WARPSTARらくらくアシスタント」をインストールするインス トール方法は、WARPSTAR(ベース)の取扱説明書の「WARPSTAR ベースの100BASE-TX/10BASE-Tポートにパソコンを接続する場 合」にしたがって行ってください(ただし、Ethernetケーブルを接 続する必要はありません)。
- ジチェック // らくらくアシスタントと同時にインストールされる「サテライトマネージャ」
 は、WARPSTARサテライト(WL11C(A))(WL11U)専用ですので、内蔵の
 2.4GHzワイヤレスLANではご使用になれません。

4 WARPSTAR導入ウィザードで設定を行う

「WARPSTARらくらくアシスタント」のインストール後、 WARPSTAR導入ウィザードが起動します。 以下の点に注意し、ウィザードにしたがって設定を行ってください。

- 「お使いのパソコンとWARPSTARの接続方法」では、「Ethernet ケーブルで接続」もしくは、「100BASE-TX/10BASE-Tケーブル で接続」を選択してください。「ワイヤレスLAN(カード)」や「ワ イヤレスLAN(USBボックス)」は、WARPSTARサテライト (WL11Q(A))(WL11U)専用です。
- 「WARPSTAR(ベース)を接続しているLANカード/アダプタの 選択」では、「Wireless Endbedded card Model 0504」を選択し てください。
- 5 インターネットの接続設定を行う WARPSTAR(ベース)の取扱説明書の「インターネットの接続設定 をする」にしたがってください。

6 インターネットに接続する WARPSTAR(ベース)の取扱説明書の「インターネットに接続する」にしたがってください。

WARPSTARシリーズに関する最新情報は、AtermStationをご覧ください。

http://aterm.cplaza.ne.jp/

セキュリティ/マネジメント機能

本機は、システム管理者が効率よく本機をセキュリティ/マネジメントす るための機能を備えています。

セキュリティ/マネジメント機能の概要

システム管理者が、効率よくパソコンをセキュリティ/マネジメントする ためには、次のような手段・機能を利用することが効率的であるといわれ ています。

- 機密データの漏洩、改ざん防止、コンピュータウィルスの侵入を防ぐため、外部からデータを取り込むことができないようにする(ロックする)(1/0ロック)
- 本体の盗難やパスワードの解除を防止する。(筐体ロック)
- ・システム管理者向けと一般のユーザ向けの利用環境を設定し、使用で きる機能を制限する。(CyberAccess)
- システム管理者のパソコンから管理するパソコンの電源、システムを 遠隔操作できる。(リモートパワーオン/オフ機能)
- ・ ソフトウェアのバージョンアップのために、必要なパソコンのハードウェア構成情報(メモリ容量、ハードディスクの空き容量など)、ソフトウェア構成情報を管理する。(Intel® LANDesk® Client Manager 6 (with NEC Extensions))

本機には、このような手段・機能を利用するために、次のような機能を備 えています。

セキュリティ機能

指紋認証の利用

参照/「PART3 システム設定」の「Securityの設定(P.147)

指紋認証ユニット(シリアル)(PK-FP002M)を利用することで、本体の起動時やパスワードの入力を要求されるような場合、かわりに指紋を照合することで、ユーザの不正使用やデータの漏洩を防止します。また、パスワードを忘れる、パスワードを解読されるといったことを未然に防ぎます。

参照 / 指紋認証ユニットに添付のマニュアル

ユーザ/スーパバイザパスワード

スーパバイザパスワード/ユーザパスワードを設定することで、本機の使用者を制限するとともに、本機の不正使用を防止することができます。 BIOSセットアップメニューでそれぞれのパスワードを設定し、 「Password On Boot」を「Enabled」に設定してください。

- チェック? ・下記の状態で、管理者側のパソコンからリモートパワーオン機能で本機を 起動するには、BIOSセットアップメニューの「Security」の「Network Boot Setting」の「BIOS LOCK」を「Disabled」にしなければなりません。
 - スーパバイザパスワード、ユーザパスワードが設定され、BIOSセット アップメニューの「Security」の「Password On Boot」が「Enabled」 に設定されている場合
 - ・本機に指紋認証ユニットが接続され、指紋認証ユニットのBIOS LOCK が設定されている場合
 - パスワードやパスワードの解除の方法を忘れたときのために、事前に 「PART3 システム設定」Securityの設定」を印刷しておくことをおすす めします。

1/0**ロック**

I/Oロックは、外部とのデータ交換の手段であるI/OC フロッピーディス クドライブ、シリアルポート、パラレルポートなど)を利用できないよう にする機能です。この機能を利用することで、部外者のデータアクセスを 防止したり、システムに影響を及ぼすアプリケーションをインストール することを防止することができます。また、CDレスモデルは、このような 概念からあらかじめCD-ROMドライブなどが搭載されていません。

参照/「PART3 システム設定」Securityの設定」の「I/Oロック(P.151)

ハードディスクパスワード機能

本機で使用するハードディスクドライブにパスワードを設定することに より、本機以外のパーソナルコンピュータでハードディスクドライブの 不正使用を防止することができます。万一、ハードディスクドライブが盗 難にあって、他のパーソナルコンピュータに設置された場合でも、パス ワードが必要となるため、重要なデータの漏洩を防ぐことができます。

参照 ハードディスクパスワードの設定「PART3 システム設定」Securityの 設定(P.147)

筐体ロック

管体ロック(セキュリティケーブル2(PK-SC/CA02))を使用することで、 本体の盗難やスーパパイザ/ユーザパスワード解除の防止に役立てるこ とができます。筐体ロックはロック付き盗難防止ケーブルを使用するこ とができます。1つは南京錠とワイヤーチェーンを利用することができ、 もう1つはキーケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応してお り、以下の別売のオプションを利用することができます。なお、筐体ロッ クはVersaBay IVアンロックと共通になっていますので、VersaBay IV の盗難も防止することができます。

ウイルス検出・駆除

コンピュータウイルスの検出、識別、および駆除を行うには「Norton AntiVirus」を使用します。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「Norton AntiVirus」 クライアントポリシー管理

本機に添付されているCyberAccessを使用することで、使用できるアプ リケーションやシステムに影響を与える動作を制限することができま す。また、別売のCyberAccess Ver3.1により、管理者PCから一括して設 定、変更することができます。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「CyberAccess」

マネジメント機能

リモートパワーオン機能(Remote Power On機能)

LAN(ローカルエリアネットワーク)経由で、離れたところにあるパソコンの電源を入れる機能です。

本体およびLANボードがリモートパワーオン機能に対応しているシステ ムでは、本体がスタンバイ状態または休止状態のときも、リモートパ ワーオン用の専用コントローラは通電されています。管理パソコンは Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)からの リモートパワーオンのコマンド指示により、パワーオンを指示する特殊 なパケットを離れたところにあるパソコンに送信します。そのパケット を離れたところにあるパソコンの専用コントローラが受信すると、専用 コントローラはパワーオン動作を開始します。これにより離れたところ にある管理パソコンから、LAN接続された本機をスタンバイ状態から復 帰または休止状態から復帰させることができます。

リモートパワーオン機能を利用するためには、次のソフトウェア、設定、 またば「NEC 8番街」からモジュールのダウンロードが必要になります。

- ・管理パソコン
 別売の「DMITOOL Ver8.2(pcAnywhere™ 9.2 EX コンプリート版付)」など
- ・本機
 - Intel[®] LANDesk[®] Client Manager 6(with NEC Extentions)(標 準添付)
 - ・リモートパワーオンの設定(P.93,95)

ジチェック!! 「DMITOOL Ver8.2(pcAnywhere™ 9.2 EX コンプリート版付)」を使用 する場合、次のモジュールが必要となります。

> 次のアドレスから「サポート情報」「ダウンロード(ビジネスPC)」「カテ ゴリ検索」の順にクリックし、「カテゴリ」に「運用管理関連」を指定して、ダウ ンロードしてください。

http://nec8.com/

- 「DMITOOL Ver8.x(コンプリート版付)用Mate向けアップデートモジュール(2002秋~)」
- 参照 ・「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions)」『活 用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」
 - ・ リモートパワーオンの設定「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード」リモートパワーオン機能の設定(Windows XPおよびWindows XP Homeの場合)(P.93)「リモートパワーオン機能の設定(Windows 2000の場合)(P.95)

ネットワークブート機能(PXE搭載)

OSのセットアップ、BIOSフラッシュ(BIOS ROMの書き換え) BIOS設 定変更の操作を管理者側のパソコンから複数のクライアントPCに対し て一括でリモート操作することができます。PXE(Preboot eXecution Environment)に準拠した運用管理ソフトウェアが必要です。

参照 PART3 システム設定」の Advancedの設定 (P.143)

リモートコントロール/ファイル配信

本機のデータやシステムファイルなどのバックアップ、ファイル転送、ア プリケーションのインストール、アプリケーションの実行などの操作 ()を離れたところにあるシステム管理者のマシンから、本機を操作す ることができます。Windows 2000の場合は、本機およびシステム管理者 のマシンにそれぞれpcAnywhere(Symantec社製)が必要です。

アプリケーションによっては、できないものがあります。

クライアントモニタリング

Intel® LANDesk® Client Manager & with NEC Extensions)により、 離れたところにあるマシンから本機の構成情報を知ることができます。

<u>参照</u>『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions)」

資産管理

本機のメモリ容量、PCIスロットの使用状況などのハードウェア構成 およびインストールされているソフトウェアについての情報が得られ ます。また、離れたところにあるマシンから、本機の情報を知ることが できます。

信頼性機能

StandbyDisk

- XP 2000 ハードディスクドライズ(プライマリマスタ)の内容を増設ハードディス クドライズ(VersaBay IV対応)(セカンダリマスタ)に自動的にバック アップします。ハードディスクドライブの障害発生時に増設ハードディ スクドライブに最終バックアップしたときの状態に復元できます。増設 ハードディスクドライズ(StandbyDiskあり)を搭載したモデルでご利用 になれます。
 - 参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「StandbyDisk」

ハードディスクドライブ障害時の自動バックアップ機能

ハードディスクドライブの異常を監視します(SMART機能)。標準装備されているハードディスクドライブは、S.M.A.R.T(Self Monitoring, Analysis and Reporting Technology)に対応しています。また、「Masty Data Backup/F」との連携によってバックアップをとることができます。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「Masty Data Backup」


周辺機器を利用する

別売の周辺機器の取り付け/取り外し方法や注意事項などを説明してい ます。

この章の読み方

次ページの「接続できる周辺機器」、「接続にともなう注意点(P.111)を読んだ後に、目的にあわせて次に該当するページを読んでください。

この章の内容

接続できる周辺機器	110
接続にともなう注意点	111
本体カバー類の取り外し	117
増設RAMボード(メモリ)の取り外し/取り付け	120
PC カードを利用する	128
VersaBay IV を利用する	135



本機には、次のような別売の周辺機器が取り付けられます。



接続にともなう注意点

周辺機器を取り付ける場合、次のようなことに注意してください。

接続前の確認

取り付けたい周辺機器は、本機で使えるものですか? 取り付けたい周辺機器が本機で使えるものかどうか、周辺機器のマ ニュアルで確認するか、製造元に問い合わせてください。なお、NEC製 の周辺機器で接続可否の確認がとれているものについては、NECの企 業向けパソコン関連総合サイト「NEC8番街」で紹介しています。

http://nec8.com/

「サポート情報」「商品の適合検索」をご覧ください。

リソースは確保されていますか?

周辺機器を使うには、「リソース」が必要です。「デバイスマネージャ」 で、その周辺機器で使用されるリソースが空いているかどうか確認し てください。リソースが足りない場合は、使わない機器や機能のリソー スを空けて、その分を取り付けたい周辺機器が使えるよう設定を変更 します。

プラグ&プレイ セットアップについて

周辺機器の中には、デバイスドライバ(デバイスのためのソフトウェア)のセットアップが必要なものがあります。

プラグ&プレイとは、取り付けたハードウェアを自動的に検出してセットアップを行う機能です。

新しいハードウェアを取り付けると、次に電源を入れたときにWindows によって自動的に新たなハードウェアが検出され、必要に応じてデバイ スドライバウィザードが起動されます。外付けの周辺機器を接続した場 合は、本体の電源を入れる前に周辺機器の電源を入れてください。

周辺機器にデバイスドライバのフロッピーディスクまたはCD-ROMが 添付されている場合は、周辺機器のマニュアルの指示に従ってセット アップを行ってください。

デバイスドライバの追加について

- ・周辺機器によっては、デバイスドライバのセットアップが必要な場合 があります。周辺機器のマニュアルをご覧になり、必要なデバイスドラ イバを組み込んでください。
- ・デバイスドライバを組み込んだ後、本機の再起動を求められることが あります。その際には他の操作をせずに直ちにWindowsを再起動して ください。
- デバイスドライバを組み込んだ後の再起動の際には、通常よりも時間 がかかることがあります。正常に再起動されるまで電源は切らないで ください。
- ・Windows XP対応のドライバが NEC 8番街」で提供されている場合 がありますので定期的に確認してください。

接続時に注意すること

感電注意	・雷が鳴り出したら、本機や電源ケーブルに触れたり、周辺機器の取り 付け/取り外しをしたりしないでください。 落雷による感電のおそれがあります。
	・濡れた手で触らないでください。 電源ケーブルがACコンセントに取り付けられているときに、濡れた手 で本体に触ると、感電の原因になります。
	・周辺機器の取り付け/取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプ ラグをACコンセントから抜いてください。 電源ケーブルがACコンセントに取り付けられたまま周辺機器の取り 付け/取り外しをすると、本機や周辺機器の故障、場合によっては感 電の原因となります。
	- ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー
高温注意	・本機の使用直後は、本体カバー類を取り外さないでください。本体 内部が高温になっていますので、本体内部のカバー類に手を触れる とやけどをする恐れがあります。本体カバー類を取り外す場合は、電 源を切って30分以上たってから行ってください。
光 火注意	

接続にともなう注意点 113

接続がうまくできない場合

ケーブルは正しく取り付けられていますか? 見落としがちなことですが、本機や周辺機器を動かしたときなどに、 ケーブルが外れたりすることはよくあります。ケーブルがきちんと取 り付けられているか、確認してください。

デバイスドライバは組み込みましたか?最新のものですか? 周辺機器を取り付けてもデバイスドライバが組み込まれていないと、 使うことはできません。周辺機器のマニュアルをご覧になり、デバイス ドライバを組み込んでください。

また、周辺機器のデバイスドライバは、知らないうちに改善されて新し くなっていることもあります。「デバイスドライバの組み込み方は正し いのに、うまく動かない」といった場合は、デバイスドライバを最新の ものにするとうまく動くようになることもあります。周辺機器の製造 元に問い合わせて、最新のデバイスドライバを入手してください。な お、NEC製の最新ドライバはNECの企業向けパソコン関連総合サイト 「NEC 8番街」で提供しています。

http://nec8.com/

「サポート情報」の「ダウンロード(ビジネスPC)」「NECサポートプロ グラム」をご覧ください。

READMEファイルや「補足説明」を読みましたか?

アプリケーションに付いているREADMEファイルには、マニュアルや ヘルプに記載されていない重要な情報が掲載されていることがありま す。また、「補足説明」には、本機をご利用にあたっての注意事項や、マ ニュアルには記載されていない最新の情報について説明しています。 添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入って いる「Mate/Mate R電子マニュアル」からご覧になれます。また以下の 方法でもご覧になれます。

Windows XP、またはWindows XP Homeの場合

・「スタート」ボタン 「すべてのプログラム」「補足説明」

Windows 2000の場合

・「スタート」ボタン 「プログラム」「補足説明」

周辺機器を複数取り付けたため、何が原因かわからなくなっていませんか? このような場合は、取り付けた機器をいったん全部外します。その後、 1つずつ取り付けては本機を起動させるという作業を繰り返します。本 機が起動しないなどの現象を発生させる機器があったら、その機器に 問題があります。リソースの設定やデバイスドライバの設定などが正 しく設定されているか、確認してください。 トラブルが起きていませんか?

『活用ガイド ソフトウェア編』トラブル解決Q&A」からあてはまり そうなトラブルを探してください。あてはまる項目が見つからない場 合は、「トラブルを解決するには(ヒント)」をご覧ください。

リソースの競合が起こったら

PCカードは、プラグ&プレイに対応しているため基本的には設定不要で すが、本機が作動しない場合は、リソースの競合が起こっているかもしれ ませんのでここをお読みください。

最もリソースの競合が起きやすいのは、本機に新しい機器が追加された 場合です。新しい機器が検知されたときにシステムの状態が調べられま す。

新しい機器がプラグ&プレイに対応している場合は、リソースの競合が 起きないように自動的に設定されます。新しい機器がプラグ&プレイに 対応していない場合は、リソースの競合が起こるとドライバを組み込め なくなります。本機が起動しなくなるような競合に対しては、二重三重の 保護機能が働くように設定されているからです。ドライバの異常、リソー スの競合など何らかの障害があると、アイコンに黄色い「!」マークや赤い 「×」マークが表示されます。

Windowsで、リソースの競合が起こっているかどうかは、以下の方法で 確認してください。

Windows XP、またはWindows XP Homeの場合

- **1** 「スタート」ボタン 「マイコンピュータ」をクリック
- 2 「システムタスク」の「システム情報を表示する」をクリック
- **3** 「ハードウェア」タブの中の「デバイスマネージャ」ボタンをク リック

表示される「デバイスマネージャ」で確認できます。

異常が表示された場合は、まずその機器のプロパティを開いてください。 「デバイスの状態」の欄に、異常の原因が表示されます。異常の原因がリ ソースの競合であった場合は、次の方法で解決することができます。

- 1 「リソース」タブを開く
- 2 「自動設定」のチェックを外す
- 3 「設定の登録名」で別の構成を選んでから、「設定の変更」をク リック
- 、
 ジチェック
 //
 選択した機器やリソースの種類によっては、設定値を変更できない場合があ ります。その場合、競合を起こしているもう一方の機器の設定値を変更してく ださい。なお、本機のリソースについては、「PART4 付録」の「割り込みレベ ル・DMAチャネル(P.162)をご覧ください。

Windows 2000の場合

- **1** 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「システム」をダブルクリック
- 3 「ハードウェア」タブの中の「デバイスマネージャ」ボタンをク リック 表示される「デバイスマネージャ」で確認できます。
- ジチェック ?! USB 接続のキーボードとマウスをご使用の場合は、「101/102英語キーボー ド」、「Microsoft Natural PS/2キーボード」または、「PS/2互換マウス」に黄 色い「!」が表示される場合がありますが、異常ではありません。

異常が表示された場合は、まずその機器のプロパティを開いてください。 「デバイスの状態」の欄に、異常の原因が表示されます。異常の原因がリ ソースの競合であった場合は、次の方法で解決することができます。

- 1 「リソース」タブを開く
- 2 「自動設定」のチェックを外す
- 3 「設定の登録名」で別の構成を選んでから、「設定の変更」をク リック
- ◆チェック // 選択した機器やリソースの種類によっては、設定値を変更できない場合があ ります。その場合、競合を起こしているもう一方の機器の設定値を変更してく ださい。なお、本機のリソースについては、「PART4 付録」の「割り込みレベ ル・DMAチャネル(P.162)をご覧ください。

本体カバー類の取り外し

ここでは、内蔵機器を取り付けるときなどに必要なカバー類の取り外し 方について説明します。

LCD**リアカバーの取り外し**

メモリを取り付けたりする場合は、本体のLCDリアカバーを取り外す必要があります。

- 1 本機の電源を切る
- 2 ケーブルカバー内部のコネクタに周辺機器を接続していない 場合は、手順3へ進む ケーブルカバー内部のコネクタに周辺機器を接続している場 合は、ケーブルカバーを取り外す



- 3 本体に接続されているすべてのケーブル(電源ケーブルなど) を取り外す
- 4 盗難防止用の錠を使用している場合は取り外す

5 ディスプレイ下部にあるLCDリアカバーを矢印のように押し て、そのまま手前に引いて、LCDリアカバーを取り外す



LCD**リアカバーの取り付け**

1 LCDリアカバー上部のツメ ~ を本体上部の溝に合わせて はめ込み、の盗難防止ロックの金具がカバーの穴を通るよう にしてから、残りのカバーのツメを ~ の順番にパチンと音 がするまで押し込んで、本体の溝にはめ込む LCDリアカバーを取り付けるときは、盗難防止ロックの金具を押 し込み、収納された状態にしてください。





- 2 盗難防止用の錠を使用している場合は取り付ける
- 3 ケーブル(電源ケーブルなど)を本体に取り付ける
- 4 ケーブルカバーを取り外した場合は、ケーブルカバーを取り付ける



大量のメモリを必要とするOSやアプリケーションを使用する場合には、 別売の増設RAMボードを取り付けることで、メモリを増やすことができ ます。

取り付け前の確認

本機に増設RAMボードを取り付ける前に、取り付けられる増設RAMボードを確認します。

本機には、メモリスロットが1つあり、別売の増設RAMボードを取り付けることにより最大640MBまで増設できます。

取り付けられる増設RAMボード

本機には、増設RAMボードを1枚取り付けられます。 取り付け可能な増設RAMボードについては、NECの企業向けパソコン関 連総合サイト「NEC 8番街」で紹介しています。

http://nec8.com/

「サポート情報」「商品の適合検索」をご覧ください。

増設RAMボードの取り外し

- ◆チェック? 増設RAMボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設RAMボードを扱うと、増設RAMボードを破損させる原因となります。 増設RAMボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど) に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、増設RAM ボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないよう にしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。
 - 1 「LCDリアカバーの取り外し」の手順でLCDリアカバーを取り 外す(P.117)



ジチェック // 液晶画面を傷付けたりしないように、液晶画面の下に厚手の布や紙などを敷いてから作業してください。



3 メモリスロットカバーのネジを1本外し、メモリスロットカ バーを取り外す



4 コネクタの両端部分を左右に押し広げる 増設RAMボードのロックが外れ、起き上がります。



5 そのまま増設RAMボードを斜めに引き抜く

- ジチェック∜・増設RAMボードのコネクタ部分には手を触れないでください。接触不良 など、故障の原因となります。
 - ・ ボード上の部品やハンダ付け面には触れないよう注意してください。

- 6 メモリスロットカバーを取り外したときと逆の手順で取り付け、カバーを取り外したときのネジでもと通りに固定する
- 7 本機を起こす
- 8 「LCDリアカバーの取り付け」の手順で、LCDリアカバーを取り 付ける(P.119)

増設RAMボードの取り付け

- ◆チェック? 増設RAMボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設RAMボードを扱うと、増設RAMボードを破損させる原因となります。 増設RAMボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど) に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、増設RAM ボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないよう にしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。
 - 1 「LCDリアカバーの取り外し」の手順で、LCDリアカバーを取り 外す(P.117)
 - 2 本機を机の端などの場所に液晶画面を下にして置く
- ♥チェック! 液晶画面を傷付けたりしないように、液晶画面の下に厚手の布や紙などを敷いてから作業してください。



3 メモリスロットカバーを固定しているネジ(1本)を外し、メモリスロットカバーを取り外す



- 4 増設RAMボードの切り欠き部分を本機コネクタの突起部にあ わせ、本機コネクタに対して約30度の挿入角度で、増設RAM ボードの端子が当たるまで差し込む
- ◆チェック ??
 ・ 増設RAMボードのコネクタ部分には手を触れないでください。接触不良 など、故障の原因となります。
 - ・ ボード上の部品やハンダ付け面には触れないよう注意してください。
 - ・ 増設RAMボードを間違った向きで無理に取り付けようとすると、本機の コネクタ部や増設RAMボードを破損させる原因となります。取り付け方 向に注意してください。



5 カチッと音がする位置まで増設RAMボードを本機コネクタに 強く倒し込む



♥チェック! 増設RAMボードがコネクタにしっかりロックされたことを確認してください。



- 6 メモリスロットカバーを取り外したときと逆の手順で取り付け、カバーを取り外したときのネジでもと通り固定する
- 7 本機を起こす
- 8 「LCDリアカバーの取り付け」の手順で、LCDリアカバーを取り 付ける(P.119)

メモリ取り付け後は、次の「メモリ容量の確認方法(P.127)に従って、取り付けが正しく行われたかどうか確認してください。

メモリ容量の確認方法

Windows XP、またはWindows XP Homeの場合

- **1** 「スタート」ボタン 「マイコンピュータ」をクリック
- 2 「システムタスク」の「システム情報を表示する」をクリック 「システムのプロパティ」の「全般」タブの中にメモリの容量が表示 されます。

Windows 2000の場合

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリック
- 2 「システム」をダブルクリック 「システムのプロパティ」の「全般」タブの中にメモリの容量が表示 されます。
- ・BIOSセットアップメニューの「Main」の「Extended Memory」でも確認 することができます。メモリの容量を確認すると、搭載されている容量よ り数MB少ない容量が表示されることがあります。これはメインメモリが システムに割り当てられるためで、故障ではありません。
 - 電源投入後ディスプレイの画面が表示されるまでの時間は、メモリの容量 によって変わってきます。これは、メモリの初期化のためです。512MBを 1枚増設した場合、約6秒かかります。

メモ

表示されたメモリ容量が正しくない場合は、メモリが正しく取り付けられ ているか、本機で使えるメモリを取り付けているかを確認してください。



PCカードを利用する

本機ではPC Card Standard準拠のPCカードを使用できます。PCカードを使うことで、本機の機能を拡張したり、さまざまな周辺機器を取り付けることができます。

ФФØ РС**л-** К

PCカードとは、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)とPCMCIA (Personal Computer Memory Card International Association)との 間で共同で標準化を進めているカードの名称のことです。PCカードには さまざまな種類があり、用途も幅広く使われています。メモリカードやモ デムカード、SCSIインタフェース対応機器をつなげるためのSCSIカード などがあり、ハードディスクとして使われるカード(ATAカードなど)も あります。

PCカードスロットについて

TYPE IかTYPE IIのPCカードを各スロットに1枚ずつ2枚まで、または 2つのスロットをあわせて1枚のTYPE IIIのPCカードを使用できます。な お、本機では、ZVボート対応のPCカードは使用できません。



使用上の注意

PCカードの取り扱い

PCカードは精密にできています。PCカードやスロットの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- 高温多湿あるいは低温の場所に放置しないでください。
- 濡らさないでください。
- ・重いものを載せたり、ねじ曲げたりなどしないでください。
- ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。
- ・PCカードの端子部分に金属などを差し込まないでください。
- 本機のPCカードスロットでは、PC Card Standardに準拠していない PCカードは使用できません。対応していないPCカードを無理に押し 込むと、故障の原因となります。



Windows 使用中の取り扱い

 本機がスタンバイ状態または休止状態の場合、PCカードをセットした り取り出したりしないでください。本機の機器構成が変更されると データを消失させてしまうことがあります。

PCカードの取り付け

1 PCカードの差し込む向きを確認し、PCカードイジェクトボタンが収納された状態でPCカードの表面(ラベル面)を本体背面 側へ向け、垂直にまっすぐ静かに差し込む

⚠注意

PCカードには表と裏があり、スロットへ差し込む方向も決まっています。間違った向きで無理やり差し込むと、コネクタやスロットを破損させるおそれがあります。

PCカードイジェクトボタンが突き出た状態でカードを差し込むと、 イジェクトボタンを収納できなくなります(イジェクトボタンが出た状態のままになります)。カードを差し込むときは、イジェクトボタンを 収納(カチッと音がするまで押し付ける)してから差し込んでください。



PCカードの取り外し

Windows XP、またはWindows XP Homeの場合

- **1** タスクトレイにあるPCカードのアイコン
 ⑤をダブルクリック 「ハードウェアの安全な取り外し」の画面が表示されます。
- SCSI PCカードを取り外すときタスクトレイの「ハードウェアの取り外しま たは取り出し」でエラーとなる場合があります。このような場合はWindows を終了してからSCSI PCカードを取り外してください。
 - 2 取り出したNPCカードを選択し、「停止」ボタンをクリック
 - 3 「ハードウェアデバイスの停止」の画面で、「OK」ボタンをクリック 安全に取り外せるという内容のメッセージが表示されます。
 - 4 「閉じる」ボタンをクリック
 - 5 PCカードイジェクトボタンを指で軽く押し込んでから指を離す PCカードイジェクトボタンが飛び出ます。



6 飛び出たPCカードイジェクトボタンをロックされるまで押し 込む

PCカードが押し出されます。



7 PCカードを静かに取り出す



Windows 2000の場合

- **1** タスクトレイにあるPCカードのアイコン参をダブルクリック 「ハードウェアの取り外し」の画面が表示されます。
- SCSI PCカードを取り外すときタスクトレイの「ハードウェアの取り外しま たは取り出し」でエラーとなる場合があります。このような場合はWindows のシャットダウンを行ってからSCSI PCカードを取り外してください。
 - 2 取り出したNPCカードを選択し、「停止」ボタンをクリック
 - 3 「ハードウェアデバイスの停止」の画面で、「OK」ボタンをクリック 安全に取り外せるという内容のメッセージが表示されます。
 - 4 「OK」ボタンをクリック
 - 5 「閉じる」ボタンをクリック
 - 6 PCカードイジェクトボタンを指で軽く押し込んでから指を離す PCカードイジェクトボタンが飛び出ます。



7 飛び出たPCカードイジェクトボタンをロックされるまで押し 込む

PCカードが押し出されます。





PCカードを静かに取り出す



VersaBay IV を利用する

本機のVersaBay IVには、工場出荷時に取り付けられている機器を取り 外して、別売のオプション機器を取り付けて使用することができます。

VersaBay IV で使用できる機器

本機のVersaBay IVには次のような別売の機器を取り付けて使用することができます。

- ・増設ハードディスクドライブ
- ・ CD-ROM ドライブ
- ・ CD-R/RW ドライブ
- ・ CD-R/RW with DVD-ROM ドライブ

など

取り付け可能なVersaBay IVの機器については、NECの企業向けパソコ ン関連総合サイト「NEC 8番街」で紹介しています。

http://nec8.com/

「サポート情報」「商品の適合検索」をご覧ください。

チェック! 本機のハードディスクパスワード機能を使用してセキュリティーを有効にしたハードディスクは、他機では使用できません。他機で使用する場合は、
 「PART3 システム設定」Securityの設定」の「Assign HDD Password」
 (P.150)をご覧になり「Primary Master HDD Password」または、
 「Secondary Master HDD Password」を「Disabled」に設定してください。(P.151)

VersaBay IVの機器を交換する

- ♥ チェック!! VersaBay IVの機器を交換するときは、本機の電源を切ってから行ってください。本機の電源が入っている状態や、スタンバイ状態または休止状態中の交換はできません。
 - 1 本機の電源を切る
 - 2 筐体ロックなどを使用している場合は取り外す

3 本体背面にあるVersaBay IVアンロックを、図のように引き起 こす



- **4** 引き起こしたVersaBay IVアンロックを押し込む 取り付けられていた機器が少し押し出されます。
- 5 取り付けられていた機器を引き抜く
- 6 取り付ける機器を挿入し、奥まで押し込む
- ジチェック! VersaBay Ⅳに機器を取り付ける場合は、本機を傾けたりせずに、水平に近 い状態にして機器を押し込んでください。本機を傾けた状態で機器を落とし て取り付けたりすると、本体や機器の故障の原因となる場合があります。
 - 7 筐体ロックなどを使用している場合は取り付ける
 - 8 引き起こしたVersaBay IVアンロックを折りたたみ、もとの位置に戻す



システム設定

この章では、BIOSセットアップメニューについて説明します。BIOSセットアップメニューは、セキュリティ、省電力など本機の使用環境を設定することができます。

この章の読み方

次ページの「BIOSセットアップメニューについて」を読んだ後に、目的に あわせて該当するページをお読みください。

この章の内容

BIOSセットアップメニューについて	138
Main の設定	141
Advanced の設定	143
Security の設定	147
Power の設定	153
Boot の設定	156

BIOSセットアップメニューについて

本機には、使用環境を設定するためにBIOSセットアップメニューが内蔵 されています。

BIOSセットアップメニューの起動と初期画面

1 電源を入れた直後に表示される「NEC」のロゴ画面で、「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot. () と表示されたら、【F2】を押す 以下の画面が表示されます。

> メニューを日本語に設定した場合は、「F2:BIOSセットアップメニューを 起動します、F12:ネットワークブートします。」と表示されます。

PhoenixBIOS Setup Utility]_					
Main A	dvanced Se	curity	Power	Boot	Exit			メニューバー
System Tim	ie :	[hh:	mm:ss]			Item Specific Help		
System Dat	e:	[mm	i/dd/yyy	y]		<tab>, <shift-tab>, or</shift-tab></tab>		
Language :		(Eng	glish (US)]		<enter> selects field</enter>		
 Primary Ma Primary Slat Secondary Secondary 	ister ve Master Slave	[×> [Nor [×> [Nor	(xxx) ne] (xxx) ne]	×] ×]				パラメータ
 Keyboard F Boot-time D System Mei Extended M BIOS Revis 	eatures liagnostic Scree mory lemory ion	en [Dis 624H × × × ×	abled] (B KB ××××	: × ×				
F1 Help Esc Exit	Select Iter Select M	m - enu Er	/ + Cha nter Selec	ange Valu ct) Sub-N	es 1enu	F9 Setup Defaults F10 Save and Exit	-	キーステータスパー

```
    ジチェック??
    ・ ブート可能なUSB機器(USB対応フロッピーディスクドライブなど)を接
    続していると、入力した【F2】が認識されにくい場合があります。この場合
    は、これらのUSB機器を取り外してから、再度上記手順を行ってください。
    取り外した機器は、BIOSセットアップメニューを終了した後で、再度接続
    してください。
```

 ディスプレイ特性により、「NEC」のロゴ画面が表示されず、【F2】を押すタ イミングが計れない場合があります。この場合は、本体の電源を入れた直 後、キーボード上のNumLockランプが点灯するタイミングで【F2】を2~ 3回押してください。 メモ

BIOSセットアップメニューの基本操作

- ・【 】 】 】 ご設定項目および設定項目内を選択します。
- ・「Date J Time 」の設定ではカーソル移動は Tab Jで行います。
- ・【Enter】で設定項目を表示します。

BIOSセットアップメニューの終了

メニューバーの Exit 」の選択項目

選択項目	説 明
Exit Saving Changes	変更した内容を保存してから終了します。
	(【F10】を押す終了方法と同じ)
Exit Discarding Changes	変更した設定を保存せずに終了します。
Load Setup Defaults	すべての選択項目を工場出荷時の設定値に
	戻します。(【F9】を押す方法と同じ)ユーザ
	パスワードで起動した場合、本項目が選択で
	きなくなります。
Discard Changes	変更前の値に戻します。ユーザパスワードで
	起動した場合、本項目が選択できなくなります。
Save Changes	変更した値を保存します。

工場出荷時の設定値に戻す

工場出荷時の設定値に戻す方法について説明します。

- 1 電源を入れる
- 2 「NEC」ロゴの画面で、「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot.」と表示されたら、【F2】を押す BIOSセットアップメニューが表示されます。
- 3 【F9】を押す

「Setup Confirmation」のダイアログボックスが表示されます。

4 「Yes」を選択し、【Enter】を押す 工場出荷時の設定値を読み込みます。 5 【F10】を押す

「Setup Confirmation」のダイアログボックスが表示されます。

 6 「Yes」を選択し、【Enter】を押す 設定値が保存され、BIOSセットアップメニューが終了します。

以上で作業は終了です。



Mainの設定

()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで起動したとき に変更可能な項目です。

System Time() 現在の時刻を「時:分:秒」で入力します。

System Date**()** 日付を「月/日/年」で入力します。

Language() BIOSで使用する言語を設定します。日本語または英語を選択できま す。工場出荷時は English(US)」に設定されています。

Primary Master

現在接続されているIDEデバイス(工場出荷時に内蔵されているハー ドディスクドライブ)が表示されます。

▼チェック/ 本項目の設定は変更しないでください。

Primary Slave **本項目には何も表示されません。**

Secondary Master

現在接続されているIDEデバイス(CD-ROMドライブ、CD-R/RWドラ イブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブが搭載されているモ デルでは、工場出荷時に内蔵されているCD-ROMドライブ、CD-R/RW ドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブ が表示されま す。なお、増設ハードディスクドライブを選択した場合、本体に添付し て出荷されます。CDレスモデルの場合は何も表示されません。

▼チェック!/ 本項目の設定は変更しないでください。

Secondary Slave 本項目には何も表示されません。

Keyboard Features

キーボード機能を設定します。この項目にカーソルをあわせ【Enter】を 押すとサブメニュー設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
NumLock	Auto /On/Off	起動時にNum Lockを有
		効にするかどうかを設定し
		ます。
Key Click	Disabled /Enabled	キークリック音を使用する
		かどうかを設定します。
Keyboard auto-	30/sec.26.7/sec.21.8/sec.	キーリピート間隔を設定し
repeat rate	18.5/sec、13.3/sec、10/sec、	ます。
	6/sec、2/sec	
Keyboard auto-	1/4sec、1/2sec、3/4sec	キーリピートが開始される
repeat delay	1 sec	までの待ち時間を設定し
		ます。
Legacy USB	Disabled/ Enabled	USBレガシー機能を設定
Support		します。
USB Packet	8 / 6 4	USBデバイスを認識する際
Size		の最初のデータパケットサ
		イズを設定します。通常は
		「8」のままご利用ください。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

Boot-time Diagnostic Screen 起動時に自己診断画面を表示するかを設定します。「Enabled」にする とNECのロゴを表示せずに自己診断画面を表示します。工場出荷時は 「Disabled」です。

ジチェック パ エラーメッセージが表示された場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』トラ ブル解決Q&A」をご覧ください。

System Memory 搭載されているシステムメモリ容量を表示します。

Extended Memory 搭載されている拡張メモリ(メインRAM)を表示します。

BIOS Revision 搭載されているBIOSのリビジョンを表示します。

Advancedの設定

Advancedの設定

ユーザパスワードで起動した場合、「Advancedの設定」が選択できなくな ります。

Plug & Play O/S

プラグ&プレイ対応のオペレーティングシステムを使用している場合は、「Yes」を選択します。工場出荷時は、「Yes」に設定されています。

Reset Configuration Data

PCIボードなどのプラグ&プレイ機器の設定値のみを初期化したい場合には、「Yes」を選択します。工場出荷時ば No」に設定されています。 ただし、「Yes」に設定した後、再度BIOSセットアップメニューを起動 すると「No」に戻ります。

PCI Configuration

▼チェック // 本項目の設定は変更しないでください。

I/O Device Configuration

入出力機器の設定を行います。この項目にカーソルをあわせ【Enter】を 押すとサブメニューの設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
Serial port A	Disabled	シリアルポートAが使用できなく
(シリアルコネクタ)		なり(I/Oロック)、割り込みが開
		放されます。
	Enabled	1/0ベースアドレスと割り込みが
		設定できます。
	Auto	1/0ベースアドレスと割り込みを
		自動的に設定します。
Base I/O	3F8 /2F8/3E8/2E8	1/Oベースアドレスを設定します。
Address		
Interrupt	IRQ3/ IRQ4	割込み番号を設定します。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

設定項目	設定内容	説明
Parallel port	Disabled	パラレルポートが使用できなくな
(パラレルコネクタ)		リ(1/0ロック)、割り込みが開放
		されます。
	Enabled	パラレルポートのモード、I/Oベー
		スアドレス、割込み番号を設定で
		きます。
	Auto	自動的にパラレルポートを設定し
		ます。
Base I/O	378/278/3BC	オプションを使用してパラレルポー
Address		トに1/0アドレスを設定します。
Interrupt	IRQ5/IRQ7	パラレルポートに割込み番号を
		設定します。
Mode	Output only/	モードを設定します。ご利用のプ
	Bi-directional /ECP	リンタのモードについては、プリ
		ンタのマニュアルをご覧ください。
DMA Channel	DMA 1/ DMA 3	パラレルポートがECPモードの
		ときに使用するDMAチャネルを
		設定します。「Mode」で「ECP」
		を選択した場合に表示されます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

参照 I/O**ロック**「Securityの設定(P.151)

Large Disk Access Mode

▼チェック// 本項目の設定は変更しないでください。

Local Bus IDE adapter

内蔵用のIDEアダプタを使用するかを設定します。工場出荷時は 「Both」に設定されています。

QuickBoot Mode

「Enabled」に設定した場合、本機起動時の一部のテストをスキップします。システム起動時間が短縮されます。工場出荷時ば「Enabled」に設定されています。
Sound

サウンドのリソースを設定します。

設定項目	設定内容	説明
Sound	Enabled	サウンドが使用できます。
	Disabled	サウンドを切り離します。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

DMI Event Logging

起動時に起きたイベントログを参照できます。この項目にカーソルを あわせて【Enter】を押すとサブメニューの設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
View DMI	(設定項目はありません)	【Enter】を押すとDMIイ
Event Log		ベントログを表示します。
Clear All DMI	No /Yes	「Yes」を選択すると、再
Event Logs		起動後すべてのDMIイベ
		ントログをクリアします。
Event Logging	Disabled/ Enabled	「Enabled」ではDMIイベ
		ントログを記録します。
Mark DMI	Yes/No	【Enter】を押し、「Yes」
Events As		を選択すると表示されて
Read		いるログは既読状態となり
		ます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

メモ

DMI(Desktop Management Interface)とは、システム管理を行うため に各PCの管理を容易に行うためのハードウェア/ソフトウェアのインタ フェースの標準仕様のことです。

Network Boot Agent

ネットワークブート機能を使用する場合は、「Enabled」を選択します。 工場出荷時は「Enabled」です。

参照 ネットワークブート機能「PART1 本体の構成各部」の「セキュリティ/マ ネジメント機能(P.106) Enable CPUID reporting CMPXCHG8B

▼チェック // 本項目の設定は変更しないでください。

President Translation Technology

▼チェック // 本項目の設定は変更しないでください。

Summary Screen

「Enabled」に設定すると起動時にシステム設定状況を表示します。工 場出荷時は「Disabled」に設定されています。

Securityの設定

Securityの設定

セキュリティに関する各種設定を行います。 項目の右側に()アークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで 起動したときに変更可能な項目です。

 ジチェック パスワード/ユーザパスワード、BIOS LOCK、ハードディスク パスワードを設定する場合は、パスワードやパスワードの解除の方法を忘れ たときのために、事前にこの「Securityの設定」を印刷しておくことをおすす めします。

Supervisor Password Is

スーパバイザパスワードの設定状態を表示します。工場出荷時は 「Clear」です。

設定項目	設定内容	説明
Supervisor	(設定項目は	「Set」が表示された場合、スー
Password Is	ありません)	パバイザパスワードが設定され
		ています。
		「Clear」が表示された場合、スー
		パバイザパスワードが設定され
		ていません。

User Password Is スーパバイザバスワードと同じ表示です。

Set Supervisor Password スーパバイザパスワードを設定します。

設定項目	設定内容	説明
Set Supervisor	(パスワード	項目にカーソルをあわせて
Password	を設定します)	【Enter】を押すとスーパバイ
		ザパスワードの設定画面になり
		ます。

Set User Password ()

スーパバイザパスワードと同じ設定です。

ジチェック // ご購入元、またはNECに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワード を解除、および無効にしておいてください。

参照 NECのお問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』

メモ

スーパバイザパスワードとはBIOSセットアップメニューの使用者を制 限するための機能です。

スーパバイザパスワードの設定を行うとBIOSセットアップメニュー起 動時、パスワードの入力画面となり設定されたスーパバイザパスワード を入力しない限りBIOSセットアップメニューの起動はできません。

ユーザパスワードとはBIOSセットアップメニューの使用者を制限し、 BIOSセットアップメニューで設定可能な項目も制限するための機能 です。

Security Mode

セキュリティモードを設定します。「Password」と「FingerPrint」が設定できます。工場出荷時は「Password」です。

・「Password」……スーパバイザパスワード設定時に設定します。

・「FingerPrint」 ... 指紋認証ユニット使用時に設定します。

Password On Boot

起動時にパスワード入力を行うかの設定をします。「Security Mode」 が Password 」の場合に表示されます。

Fixed disk boot sector

ハードディスク起動セクタを書き込み禁止にするかの設定をします。 「Write Protect」にすると起動セクタをウィルスから保護します。工場 出荷時は「Normal」です。

Diskette Access

下記の設定の後、「Supervisor」に設定するとスーパバイザ以外フロッ ピーディスクドライブにアクセスできなくなります。工場出荷時は 「Supervisor」です。

- ・スーパバイザ/ユーザパスワードを設定
- ・「Password On Boot」を「Enabled」に設定

Network Boot Setting

この項目にカーソルをあわせ、【Enter】を押すと、サブメニュー設定画 面となります。

設定項目	設定内容	説明
Keyboard/	Disabled/ Enabled	「Enabled」を選択すると、
Mouse Lock		リモート起動時にキーボー
		ド/マウスをロックします。
		なお、USB接続のキーボー
		ド/マウスを使用している
		場合、USB接続のキーボー
		ド/マウスのロックは、OS
		起動後は無効になります。
BIOS LOCK	Enabled/ Disabled	「Disabled」を選択すると、
		「Security Mode」で
		「FingerPrint」が設定さ
		れていてもリモート起動時
		にパスワード入力を要求し
		ません。この項目は、パスワー
		ドを設定して「Password
		On Boot」を「Enabled」
		に設定した場合、または指
		紋認証ユニットを接続した
		場合に表示されます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

- ◆チェック // ここでのリモート起動時とは、管理者側のパソコンからクライアントPC(本
 機)をリモートパワーオン機能により起動することを指します。
 - 参照 リモートパワーオン機能 「PART1 本体の構成各部」の「セキュリティ/マ ネジメント機能(P.102)

Virus check reminder

起動時に警告メッセージを表示します。表示するタイミングは 「Disabled」、「Daily」、「Weekly」、「Monthly」の中から選択します。工場 出荷時は「Disabled」に設定されています。 System backup reminder

起動時に警告メッセージを表示します。表示するタイミングは 「Disabled」、「Daily」、「Weekly」、「Monthly」の中から選択します。工場 出荷時ば「Disabled」に設定されています。二度と同じものを作れない ような大切なデータがある場合には、定期的にバックアップをとれる よう、設定を変更することをおすすめします。

Assign HDD Password

ハードディスクドライブ(プライマリマスタ、セカンダリマスタ)にパ スワードを設定します。ハードディスクパスワードには、ハードディス クマスタパスワード(HDD Master Password)とハードディスクユー ザパスワード(HDD User Password)の2つがあります。【Enter】を押 すとハードディスクマスタパスワードの設定画面が表示され、ハード ディスクマスタパスワードを設定すると、ハードディスクユーザパス ワードの設定画面が表示されます。次にプライマリマスタの設定を 【+】、」で行います。なお、プライマリマスタの設定を変更されないよ う、スーパパイザパスワードを設定してください。

- ジチェック // ご購入元、またはNECに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除、および無効にしておいてください。
 - 参照 NECのお問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』
 - ・ハードディスクマスタパスワード(HDD Master Password)
 ハードディスクマスタパスワードは、ハードディスクユーザパスワードを解除するためのパスワードです。ハードディスクマスタパスワードの解除方法については、後述の「ハードディスクパスワードの場合」
 (P.116)をご覧ください。
 - ・ハードディスクユーザパスワード(HDD User Password)
 ハードディスクユーザパスワードは、本機とハードディスクドライブの認証を行うためのパスワードです。ハードディスクユーザパスワードを設定することにより、本機以外でハードディスクドライブの不正使用を防止できます。

▲注意 設定したパスワードを忘れないように控えておくことをおすすめします。 パスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは、 当社でも取り出せなくなります。また、パスワードを忘れたために使用で きなくなったハードディスクドライブを交換する場合は有償になります。 ハードディスクドライブのパスワードは忘れないように十分に注意して ください。

設定項目	設定内容	説明
Primary	Enabled/ Disabled	ハードディスクドライブ(プラ
Master HDD		イマリマスタ)へ、ハードディ
Password		スクパスワードを設定します。
Secondary	Enabled/ Disabled	増設ハードディスクドライブ
Master HDD		(VersaBay IV)(セカンダ
Password		リマスタ)へ、ハードディスク
		パスワードを設定します。増
		設ハードディスクドライブを
		搭載したモデルの場合に表
		示されます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

本機、プライマリマスタにインストールされたWindows)を起動する場 合、「Primary Master HDD Password」を「Enabled」にしても、設定した ハードディスクマスタパスワードやハードディスクユーザパスワードを 入力する必要はありません。

メモ I/O**ロック**

I/Oロックは、外部とのデータ交換の手段であるI/Oを使用しないように する(ロックする)機能です。BIOSセットアップメニューの「Advanced」 の項目を「Disabled」に設定することでロックを有効にすることができま す。対象となるインターフェイスは、シリアルポートA(「Serial port A」) パラレルポート(「Parallel port」)です。

パスワードの解除

スーパバイザ/ユーザパスワードの場合

スーパバイザ/ユーザパスワードは、BIOSセットアップメニューを起動して「Security」の「Set Supervisor Password」または「Set User Password」にパスワードを入れて、新しいパスワードに何も入れずに 【Enter】を押すと解除されます。なお、スーパバイザ/ユーザパスワー ドを忘れてしまった場合のパスワードの解除方法についてはご購入 元、またはNECにお問い合わせください。

参照 NECのお問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』

● チェック パスワードの解除処置を依頼されるときは、次のことをご確認ください。

- パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- パスワード解除処置は、原則としてお客様のお持ち込みによる対応となり ます。また、機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り処置をお受 けいたします。
- パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。
 - 1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
 - 2. 身分証明書(お客様ご自身を確認できるもの)
 - 3. 印鑑
- パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の用 紙に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用用紙の記載 事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合が ありますので、あらかじめご了承ください。

ハードディスクマスタ/ハードディスクユーザパスワードの場合 ハードディスクマスタ/ハードディスクユーザパスワードでは、BIOS セットアップメニューを起動して「Security」の「Assign HDD Password」にハードディスクマスタパスワードを入れ、新しいパス ワードに何も入れずに【Enter】を押すと解除されます。

Powerの設定

Powerの設定

省電力の設定を行うための設定項目について説明します。

ACPI対応のオペレーティングシステム(Windows XP、Windows XP Home、Windows 2000)をご利用の場合、設定項目は無効になります。 「System Switch」は、ACPI対応の各オペレーティングシステムの電源管 理の項目で設定してください。

()マークがついている設定項目はユーザパスワードでBIOSセット アップメニューを起動したときに変更可能な項目です。

参照 **電源管理の設定** Windowsのヘルプ

System Switch()

「System Switch」は、本体前面にある電源スイッチをパワーボタンまたはスリープボタンとして利用できるようにする機能です。工場出荷時の設定は、「Power Button」に設定されています。

- 「Power Button」に設定した場合は、電源スイッチを押すことによって電源を入れる/切ることができます。
- 「Sleep Button」に設定した場合は、電源スイッチを押すことによっ てサスペンド/レジュームまたはスタンバイ/スタンバイから復帰 することができます。

「System Switch 」の設定を「Power Button (工場出荷時)から「Sleep Button」に変更した場合の電源を切る操作は、次のようになります。

正しく電源を切る方法

正しく電源を切る方法については、各オペレーティングシステムの 「PART1 本体の構成各部」「電源」の「電源の入れ方/切り方(電源の手 動操作)」をご覧ください。

強制的に電源を切る方法

ソフトウェアなどのエラーでWindowsが操作できなくなってしまった場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』トラブル解決Q&A 』電源を切ろうとしたが…」をご覧ください。

Resume On Modem Ring()

「On」に設定すると、モデムが呼出し信号を受信したときに、本機をスタンバイ状態から復帰します。工場出荷時は、「Off」に設定されています。

Resume On Time()

「On 」に設定すると、レジューム時刻設定時間(Resume Time)で本機 をレジュームまたはスタンバイ状態から復帰します。工場出荷時は 「Off」に設定されています。

Resume Time()

レジュームする時刻を設定します。

Restore On AC/Power Loss

AC電源(AC100V)が失われ、再投入されたとき、どの状態に復旧する かを設定します。

設定項目	設定内容	説明
Restore On	Power Off	AC投入時に電源は入りま
AC/Power		せん。
Loss	Last state	AC電源が失われたときの
		状態に戻します。電源が入っ
		ている状態で、AC電源が
		切れた場合は、電源が入り
		ます。電源が切れている状
		態でAC電源が切れた場合
		は、電源は入りません。
	Power On	AC投入時に電源が入りま
		す。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

On PME

PCIデバイス(LANボード等)によって電源を操作します。リモートパ ワーオン機能を利用するには、本項目を「Power On」に設定します。工 場出荷時は「Stay Off」に設定されています。

メモ

PME(PCI Power Management Event)とは、管理者のパソコンからク ライアントPC(本機)をリモートパワーオン機能で起動することです。

参照 リモートパワーオン機能 「PART1 本体の構成各部」の「セキュリティ/マ ネジメント機能(P.102) ACPI Assist

●チェック / 本項目の設定は変更しないでください。

Boot の設定

起動順位の設定

記動するデバイスを優先順に従ってリスト表示します。本機を起動する デバイス(ブートデバイスともいいます)を設定します。

Boot Order

設定内容	説明		
+Removable Devices	本機を起動するデバイスの順番		
ATAPI CD-ROM Drive	を決めます。設定したデバイス		
+Hard Drive	の上から順番に起動されます。		
Network Boot			
IBA X.X.XX Slot XXXX			

起動するデバイスを変更するには【 】 】を使用して変更したいデバ イスにカーソルを合わせます。【+】を押すとリストの上側に移動し、 【-】を押すとリストの下側に移動します。 複数のデバイスが存在する「Hard Drive 「Removable Devices」につ いてはさらにその中で起動する順位を設定することができます。



- ♥ チェック! ・使用環境にあわない起動順序に変更すると正常に動作しなくなる場合が ありますので、変更には十分注意してください。
 - 使用環境によっては、上記内容の項目が増えることがあります。
 - 内蔵LANから優先して起動する場合は、「Network Boot」ではなく「IBA X.X.XX Slot XXXX を上側に移動してください。

Removable Devices

USB接続のフロッピーディスクドライブ、USB接続のCD-ROMドライ ブなどの取り外し可能なデバイスの検索する順番を設定します。

Hard Drive

ハードディスクドライブの検索する順番を設定します。

USB CD-ROM

「Enabled」に設定するとUSB接続のCD-ROMドライブからの起動を 有効にします。





この章の読み方

順番に読んでいく必要はありません。目的にあわせて該当するページを お読みください。

この章の内容

機能一覧	158
割り込みレベル・ DMAチャネル	162
本機のお手入れ	164



型番の読み方

型番の表示場所や確認方法については、『はじめにお読みください』をご 覧ください。

仕様一覧

本体機能仕様

表中の は、ご購入時に選択したモデル構成により異なります。

機種名			MA10W	//FE	MA10W/FR	MA86W/FR
CPU	CP	U種別	Transm	neta® Crusoe™	^プロセッサ	
	クロ	ック周波数	TM5800 1GHz TM5800 867MHz			TM5800 867MHz
	++	ッシュメモリ	128KB	/512KB		
	(1)	次/2次((CPU内蔵)				
	メモ	リバス	100~1	I33MHz可変		
メモリ	BIO	S ROM(Flash ROM)	512KB、プラグ&プレイ対応			
	メイ	VRAM	最大640	MB(128MB(D	DR-SDRAM内蔵)+512N	IB(SO-DIMMスロット×1))
	ビデ	゚オRAM	16MB			
表示機能	表示	云素子 注1	17型TF	Tカラー液晶	15型TFTカラー液晶デ	ィスプレイ
			ディスプ	レイ		
	グラ	フィックアクセラレータ	ATI Teo	chnologies社製	MOBILITY™ RADEOI	N™を搭載
	グラ	フィック表示	64	0×480ドット 🗄	最大1,677万色	
			800×600ドット 最大1,677万色			
			1,024×768ドット 最大1,677万色			
			1,280;	×1,024ドット 🗄	最大1,677万色 注2	
サウンド機	能		YAMAH	HA社製YMF75	3を搭載、PCM録音再生	機能内蔵(ステレオ、量子化
			8ビット/	16ビット、サンフ	プリングレート8~48KHz	2)、全二重対応、内蔵ステレ
			オスピー	カ装備、MIDI音》	原機能(ソフトウェアMIDI)
補助記憶	フロ	ッピーディスクドライブ	別売のU	SB1.1経由外付	け3.5型フロッピーディス	クドライブ(3モード対応)
装置	ハー	ドディスクドライブ	Ultra A	TA-66対応、SN	1ART機能対応	
		出荷時ソフトウェア占有量	『活用ガ	イド ソフトウェフ	P編 』「 アプリケーションの	概要と削除/追加」の「ソフ
			トウェア	占有量について」	をご覧ください。	
	光テ	「ィスク関連				
		CD-ROMドライブ	内蔵*	最大24倍速		
			* CDレ	スモデルの場合は	はなし	
		CD-R/RWドライブ	内蔵* 言	読み込み : CD-R(OMは最大24倍速	
			書き込み:CD-Rは最大24倍速、CD-RWは10倍速			:10倍速
			* CDレスモデルの場合はなし			
		CD-R/RW with	内蔵* :	読み込み : CD-R(OMは最大24倍速、DVD-	ROMは最大8倍速
		DVD-ROMドライブ	1	書き込み : CD-Rl	は最大16倍速、CD-RWは	:10倍速
			* CDレ	スモデルの場合は	はなし	

機種名			MA10W/FE	MA10W/FR	MA86W/FR	
インタ	シリアル		最大11.5200bps、D-sub9ピン			
フェース	パラレル		D-sub25ピン			
	USB		4(本体左側面×2、本体)	肾面×2)、USB2.0/1.1対	応	
	サウンド関連					
	入力	マイク入力	モノラル、ミニジャック	7、入力インピーダンス1	0K 、入力レベル最大	
				dB		
		ライン入力	ステレオ、ミニジャック、ノ	、 カインピーダンス10K 、	入力レベル最大2Vrms、	
			ゲイン-6dB			
	出力	ヘッドホン出力	ステレオ、ミニジャック、出	カレベル最大500mVrms(負荷インピーダンス33)	
		/ライン出力				
	通信関連	1				
	LAN用モ	ジュラーコネクタ	RJ45(100BASE-TX/	10BASE-T)LANコネクタ	7、リモートパワーオン機能	
	2.4GH	zワイヤレス	Agere Systems社製2	.4GHzワイヤレス(無線)LA	N Mini PCIボードを搭載	
	(無線)	LAN	(IEE802.11/802.11	b)		
	入力関連					
	PS/2 *	109キーボード	キーボードは、本体PS/2	接続キーボードコネクタに	接続、マウスはPS/2接続	
			マウスコネクタに接続			
	テンキ-	-付き PS/2	キーボードは、本体PS/2接続キーボードコネクタとPS/2接続マウスコネクタ			
	小型キー	-ボード	に接続、マウスはキーボードに接続			
	USB 1	09キーボード	キーボードは、本体USBコネクタに接続、マウスはキーボードに接続			
	テンキー	-付きUSB小型	 (バスパワードハブ×2)、USB1.1対応			
	キーボー	-ド				
PCカード	スロット		TYPE II×2スロット(TYF	PE III×1スロットとしても使り	用可)PC Card Standard	
			準拠、Card Bus対応			
ファイル	内蔵3.5型ベ	【「空き]	専用1スロット(ハードディスクドライブで占有済)[0]			
ベイ	専用3.5型ベ	кт	専用1スロット(CD-ROMドライフ、CD-R/RWドライフまたはCD-R/RW with			
	(VersaBay	IV対応)[空き]	DVD-ROI	Mドライブ(VersaBay IV対	応)で占有済)[0] 注3	
			(CDレスモ	モデルの場合は専用スロット	空き)[1] 注4	
Mini PCI	スロット[소さ]				
				1(2.4GHZリイヤレス(無)	線)LAN MINI PCIホード	
カレンズ中	; <u>≐</u> ∔		じ 白 有 済 し し 」 電 油 に トス バックフップ			
カナラリ		維合に	电池によるハックアッフ		クリードディフクパフロー	
ビーユウ		7X FL	スーハハーリハスノート、	ユーリハスリート、1/0ロリ して検出・販除(「Norton	ノ、ハートリイスノハスノー Antil/irus、標準添付)ク	
ジメント			「機能、筐体ロシア、シーカ		All I Vii us J 惊平/小内 人 ソ t)	
機能	マネジメント	機能	リモートパワーオン機能*	<u>- こうじじれてしてい</u> 1 ネットワークブート機能(,) PXF搭載)リモートコント	
INC BC	(11)))))	1/2 110	ロール/ファイル配信*2./	フライアントモニタリング ^{*1}		
			*1 Intel I ANDesk Clip	ent Manager 6(with NF	C Extensions)標準添付	
			*2 別売のpcAnvwher	e(Symantec社製)が必要	e Windows 2000の場	
			合のみ利用可能)			
	信頼性機能		自動バックアップ機能(「	Masty Data Backupj	標準添付)StandbyDisk*	
			* 増設ハードディスクドライブ(StandbyDiskあり)を選択したモデルで利用			
環境条件	電源		AC100V±10%、50/60Hz、ソフトウェアパワーオフ対応			
/	温湿度条件		10~35 、20~80%(但し結露しないこと)			
消費電力	本体標準構成	戊時	約38W(最大約80W) 約33W(最大約80W) 約32W(最大約80W)			
	エネルギー消	肖費効率	Q区分 0.003		Q区分 0.0035	

4 付 録

機種名			MA10W/FE	MA10W/FR	MA86W/FR
外形寸法	本体	z	MA10W/FEの場合		
			436.5(H)×226(D)×410(W)mm(ゴム足以外の突起物含まず)		
			MA10W/FR、MA86W/FRの場合		
			393.5(H)×226(D)×370(W)mm(ゴム足以外の突起物含まず)		
	+-	・ボード			
		PS/2 109キーボード	40(H)×169(D)×45	6(W)mm	
		テンキー付き PS/2	44(H)×179(D)×38	2(W)mm	
		小型キーボード			
		USB 109キーボード	39(H)×179(D)×47	2(W)mm	
		テンキー付きUSB小型	44(H)×179(D)×38	2(W)mm	
		キーボード			
質量	本体	2	約8.5Kg	約7.6Kg	
	+-	- ボード			
		PS/2 109キーボード	約0.9Kg		
		テンキー付き PS/2	約1.2Kg		
		小型キーボード			
		USB 109キーボード	約1.2Kg		
		テンキー付きUSB小型	約1.2Kg		
		キーボード			

- 注1 液晶ディスプレイは消耗品です。液晶ディスプレイでは、明るさのむらや、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。また、輝度の調整具合、表示モードと表示データの組み合わせによってはムラやちらつき、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。
- 注2 MA10W/FEのみ表示可です。
- 注3 CD-ROM ドライブなどと増設ハードディスクドライブを選択した場合、増設ハードディスクドラ イブが本体に添付して出荷されます。ご使用の際は工場出荷時に内蔵されているCD-ROM ドライ ブなどを取り外してから実装してください。
- 注4 CDレスモデルの場合、アプリケーションのインストールやCドライブが起動しない場合の再セットアップなどには別売のVersaBay IV対応機器(CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/ RW with DVD-ROMドライブ)が必要になります。

ネットワーク形態	スター型ネットワーク	
伝送速度	100BASE-TX使用時:100Mbps	
	10BASE-T使用時:10Mbps	
伝送路	100BASE-TX使用時:UTPカテゴリ5	
	10BASE-T使用時:UTPカテゴリ3,4,5	
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式	
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式	
ステーション台数	最大1024台/ネットワーク	
ステーション間距離/	100BASE-TX:最大約200m/ステーション間	
ネットワーク経路長 注	10BASE-T:最大約500m/ステーション間	
	最大100m/セグメント	

LANボード機能仕様

注 リピータの台数など、条件によって異なります。

2.4GHz**ワイヤレス(無線)**LAN機能仕様

-= D	/1 24	
月	位 禄	
データ転送速度	11M/5.5M/2M/1M(bps)(自動切替) ¹	
準拠規格	ARIB STD-T66(小電力データ通信システム規格)	
	IEEE802.11b(2.4GHzワイヤレスLAN標準プロトコル)	
伝送方式	DS-SS方式	
伝送距離	見通し約70m(アクセスポイントとの通信時) ²	
使用無線チャンネル	1 ~ 1 1 ch	
RF周波数带域	2.4GHz帯全域(2.4~2.4835GHz)	
温湿度条件	温度:10~35	
	湿度:20~80%(結露無きこと)	

1: IEEE802.11b規格による速度(理論値)であり、実効速度とは異なります。

2: 通信距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、OSなどの使用条件 によって異なります。

割り込みレベル・DMAチャネル

割り込みレベル

工場出荷時の割り込みレベルの割り当ては、次の通りです。

割り込み	デバイス	
レベル		
IRQ00	カウンタおよびタイマ	
IRQ01	PS/2接続キーボード	
IRQ02	割り込みコントロ -ラ	
IRQ03	(空き)	
IRQ04	シリアルポート(A) 1	
IRQ05	(空き)	
IRQ06	(空き)	
IRQ07	(空き)	
IRQ08	リアルタイムクロック	
IRQ 0 9	PCカード/LAN/サウンド/	
	ACPI-Compliment System/	
	USB/グラフィック/ワイヤレス(無線)	
	LAN 2	
IRQ10	(空き)	
IRQ11	(空き)	
IRQ12	PS/2接続マウス	
IRQ13	数値演算コプロセッサ	
IRQ14	プライマリIDE	
IRQ15	セカンダリIDE	

1 別のI/O機器に変更する場合は、BIOSの設定を変更してください。

2 2.4GHz ワイヤレス(無線) LANを搭載したモデルの場合

参照 「PART3 システム設定」「Advancedの設定」の「I/O Device Configuration (P.143)

DMA**チャネル**

工場出荷時のDMAチャネルの割り当ては、次の通りです。

DMA チャネル	データ幅	デバイス
0	8または16ビット	(空き)
1	8または16ビット	(空き)
2	8または16ビット	(空き)
3	8または16ビット	(空き)
4		DMAコントローラ
5	16ビット	(空き)
6	16ビット	(空き)
7	16ビット	(空き)

4 付 録



本機のお手入れは、それぞれ次の要領で行ってください。



- - シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんは、使用しないでください。本体の外装をいためたり、故障の原因となったりします。

マウスのクリーニング

マウス内部のローラーやボールが汚れると、マウスポインタの動きが悪 くなります。とくに汚れがたまりやすいので、定期的にクリーニングして ください。ローラーだけクリーニングするときは、4~6の手順は省略して もかまいません。

- 1 本機の電源を切り、マウスのケーブルをキーボードから外す
- 2 マウスの裏側のボール止めを、下図の矢印の方向に回転させる



3 ボール止めを取り外し、ボールを取り出す



4

付

急

- 4 ボールを中性洗剤で洗い、汚れを落とす
- 5 水で中性洗剤を洗い落とす
- 6 布で水分を拭き取り、風通しの良いところで充分に乾燥させる
- 7 マウス内部のローラーの汚れを、水分を含ませた綿棒でこすり 落とす 汚れが落ちないときは、柔らかい歯ブラシなどで汚れを取ります (このとき、歯ブラシに水やはみがき粉などを付けないでください)。



8 ボールをマウスに戻す

9 ボール止めを取り付け、手順2と逆の方向に回して固定

- クリーニングの際にマウスから取り出した部品は、なくさないようにして ください。
- 水や中性洗剤は、絶対にマウスに直接かけないでください。故障の原因となります。
- シンナーやペンジンなどの有機溶剤は、使用しないでください。マウスの 外装をいためたり、故障の原因となったりします。
- ローラーの汚れを取る場合には、絶対に金属ブラシやカッター、ヤスリなどのような硬いものは使用しないでください。ローラーに傷が付き、故障の原因となります。



活用ガイド

PC98-NX >U-x Mate

液晶一体型 (Windows XP Professionalインストールモデル) (Windows XP Home Editionインストールモデル) (Windows 2000 Professionalインストールモデル)

```
初版 2002年12月
NEC
P
```